

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
11121	地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援センター)	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	2
11121	地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援センター)公立分	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	4
11121	児童措置費国庫負担金等精算返納事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートA	6
11122	私立保育施設等耐震化整備事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	7
11122	保育園庭芝生化事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	9
11122	公立保育所臨時園舎設置事業(待機児童特別対策)	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	11
11123	松山市保育所等職員研修事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートA	13
11123	障害児保育支援事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートA	14
11123	施設型給付保育所事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	15
11123	延長保育事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	17
11123	一時預かり事業(私立分)	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	19
11123	地域型保育給付事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	21
11123	病児・病後児保育事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	23
11123	施設型給付認定こども園事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	25
11123	商店街保育事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	27
11123	幼稚園長時間預かり保育支援事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	29
11123	保育士等確保支援事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	31
11123	待機児童対策・保育の質向上事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	33
11123	保育所事務費	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートA	35
11123	保育所事業費	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートA	36
11123	一時預かり事業(公立分)	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	37
11123	市立幼稚園預かり保育事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	39
11123	新型コロナウイルス感染症対策事業(私立分)	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートA	41
11123	新型コロナウイルス感染症対策事業(公立分)	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートA	42
11123	施設型給付幼稚園事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	43
11124	地域保育所施設運営補助事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	45
11124	事業所内保育施設整備促進事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	47
11132	地域保育所保育料補助事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	49
11132	子育てのための施設等利用給付事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	51
19999	保育士等感染症対策相談・支援事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートA	53
21123	公立保育所整備事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	54
41111	幼稚園事務管理費	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートA	56
41116	私立幼稚園園児健康診断補助金	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	57
41131	幼稚園庭芝生化事業	保健福祉部(子ども・子育て担当)	保育・幼稚園課	シートB	59

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 副主幹	施設担当 鴨川 信介	連絡先 担当者名 主事 藤堂 裕人 主事 宗岡 愛	948-6412
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主幹	教育保育支援 巻田 直樹	連絡先 担当者名 主査 松井 しのぶ	948-6872

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11121	地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援センター)	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	112	子育て環境を充実し、子どもたちの未来を応援する松山をつくります	
取り組みの柱	地域が一体となって、子どもたちが安心して遊べ、親たちも互いに交流できる、親子が集える拠点づくりを推進します。				中学生までの医療費の無料化を実現します。また、子育て世代包括支援センターの充実や産後ケアの推進、小児救急医療体制の堅持など、安心して出産や子育てができる環境を整えます。	
総合戦略	1361	基本目標	①つながる未来を応援する(少子化対策)		取組み	① 地域子育て支援拠点について、内容の充実とともに、より効果的な周知啓発に取り組み、多くの方に利用してもらえるよう努めます。また、空き家を地域資源と捉えた子どもの居場所づくりを検討します。
政策		③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実				
施策		⑥子育て拠点や居場所づくりの充実				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り 2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し	

根拠法令,条例,個別計画等 児童福祉法、子ども・子育て支援法、松山市子ども・子育て支援事業計画

事業の目的(どのような状態にするか)	地域子育て支援センターを保育所等内に設置することで、子育てについての相談や、地域の特性を生かした活動を行い、子育て世帯に地域とのつながりの場を提供することを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	核家族化の進行、出生率の低下等に対応して、地域全体で子育てを支える基盤の形成を図るため、子育て家庭の支援活動の企画、調整、実施を担当する職員を配置する。保育所等で「子育て家庭等に対する育児不安への相談指導」、「子育てサークル等への支援」、「地域の保育需要に応じた特別保育事業の積極的な実施」等を行う地域子育てモデル事業が平成5年から実施され、平成7年度には地域子育て支援センター事業として一般事業化された。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	以下の取り組みを行う施設に委託料を支払う。 施設は乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他を行う。 ①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ②子育て等に関する相談、援助の実施 ③地域の子育て関連情報の提供 ④子育て及び子育て支援に関する講習等の実施(月1回以上)					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 7	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費		児童福祉費		R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				81,520		85,000		86,000	
決算額(B)(単位:千円)				82,700		83,980			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			31,249		27,994		28,666	
	県支出金			31,249		27,994		28,666	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
一般財源				20,202		27,992		28,668	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算、R4→予算						委託料:83,980千円		委託料:86,000千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		-1,180		1,020	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	保育所等に設置する地域子育て支援センターで、親子のふれあいの場の提供や育児講座を行い、地域の親子を支援する体制を整える。					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など	新型コロナウイルスの影響で事業を一部停止したため、利用者が減少した。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	地域の子育て家庭のニーズに応じて、感染対策を講じながら事業を実施したため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	新型コロナウイルスの影響を受け、利用者が減少傾向にある。		環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組む改善策		感染対策を講じたうえで、できる範囲での支援を継続する。	
R4年度の目標	より地域に根ざした、子育て家庭の身近な親子交流や子育て相談ができる場の提供を目指す。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		私立保育所5園、認定こども園4園で地域子育て支援センターを実施。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	実施施設数	園	目標値	10	10	10	9	10	目標値	10	
			実績値	10	10	10			達成年度	R5年度	
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	子ども・子育て支援事業計画で設定した確保の内容(設置個所数)を目標値とする。			
	本指標の設定理由	実施状況を示すものであるため。									
	活動指標			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
	活動指標			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%		達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	年間参加組数	組	目標値	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	目標値	25,000	
			実績値	23,257	12,267	7,277			達成年度	R5年度	
		%	達成度	93	49						
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	過去の年間実績をもとに、目標値を設定。			
	本指標の設定理由	本事業の目的を示す指標であるため。									
	成果指標			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
	成果指標			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%		達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	認定こども園、私立保育所の協力で実施個所の維持ができた。引き続き地域で、子育て家庭に交流の場を提供することにより、育児不安の解消、子育ての孤立防止に努める。									
	成果指標	年間参加者数は、新型コロナウイルス等の影響もあり、減少傾向にあるものの、利用した保護者の育児不安の解消に寄与した。今後も利用者のニーズに合わせた内容を計画し、引き続き利用者が増加するように努める。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主幹	総務担当 巻田 直樹	連絡先 担当者名 主査 松井 しのぶ	948-6998
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主幹	教育保育支援 巻田 直樹	連絡先 担当者名 主査 松井 しのぶ	948-6872

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11121	地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援センター)公立分	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	112	子育て環境を充実し、子どもたちの未来を応援する松山をつくります	
取り組みの柱	地域が一体となって、子どもたちが安心して遊べ、親たちも互いに交流できる、親と子が集える拠点づくりを推進します。				中学生までの医療費の無料化を実現します。また、子育て世代包括支援センターの充実や産後ケアの推進、小児救急医療体制の堅持など、安心して出産や子育てができる環境を整えます。	
総合戦略	1361	基本目標 ①つなげる未来を応援する(少子化対策) 政策 ③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実 施策 ⑥子育て拠点や居場所づくりの充実	取組み	① 地域子育て支援拠点について、内容の充実とともに、より効果的な周知啓発に取り組み、多くの方に利用してもらえるよう努めます。また、空き家を地域資源と捉えた子どもの居場所づくりを検討します。		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、松山市子ども・子育て支援計画					
事業の目的(どのような状態にするか)	保育所内に地域子育て支援センターを設置することにより、子育てについての相談や地域の特性を生かした活動を行い、子育てについての支援を行う場、地域とのつながりの場を提供することを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	核家族化の進行、出生率の低下等に対応して、地域全体で子育てを支える基盤の形成を図るため、子育て家庭の支援勝社の企画、調整、実施を担当する職員を配置する。保育所等で「子育て家庭等に対する育児不安への相談指導」「子育てサークル等への支援」「地域の保育需要に応じた特別保育事業の積極的な実施」等を行う地域子育てモデル事業が平成5年から実施され、平成7年度には地域子育て支援センター事業として一般事業化された。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	地域の未就園児とその保護者(主として概ね3歳未満の児童及び保護者) 乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他を行う。 ①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ②子育て等に関する相談、援助の実施 ③地域の子育て関連情報の提供 ④子育て及び子育て支援に関する講習等の実施(月1回以上)					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 7	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉施設費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度			R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)				3,427			3,413			3,547
決算額(B)(単位:千円)				2,342			2,505			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			787			841			1,189
	県支出金			767			821			1,169
	市債						0			0
	その他						0			0
一般財源				788			843			1,189
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算							需用費: 1,705千円			需用費: 2,058千円
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			1,085			908

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	平成27年度から開始した子ども・子育て支援新制度の中で、「地域子ども支援事業」に本事業は位置づけられている。より地域に根ざした子育て家庭の身近な親子交流や子育て相談が出来る場の担い手になるよう目指している。また、新型コロナウイルス感染症の影響で施設が使用停止となっている間も支援を継続できるよう、タブレットを用いたオンライン事業を開始し、どのような状況でもつながりの持てる場となるような活動を行っている。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など	幼稚園、保育所、認定こども園等に入所する前の子育て家庭が、互いに集える場所として気軽に利用でき、地域に根ざした子育て支援の提供の場となったため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		地域に根ざした子育て支援の提供の場となったため		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、利用者が減少傾向となっている。また、支援センターの利用をせず育休復帰される方もいる。			環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組み改善策		メール相談、オンライン活動等デジタル環境を従来よりも充実したものとし、利用者の利便性を図るとともにハイブリッドな支援体制を築いていく。
R4年度の目標	より地域に根ざした子育て家庭の身近な親子交流や子育て相談が出来る場となることを目指している。また、デジタル環境も併せもったハイブリッドな支援を目指す。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		公立直営保育所(久米・味生・栗井・松山保育園)を拠点とした地域子育て拠点事業を実施

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	実施施設数	園	目標値	4	4	4	4	4	目標値	4	
			実績値	4	4	4	4	4	達成年度	R5年度	
			% 達成度	100	100	100					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	他施設と調整しながら、公立直営園での実施数は現状維持の方針であるため			
	本指標の設定理由	公立直営の保育所でも実施状況を示すものであるため									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	年間参加組数	組	目標値	11,500	10,000	10,000	10,000	10,000	目標値	10,000	
			実績値	9,935	4,451	3,089			達成年度	R5年度	
			% 達成度	90	45	31					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	過去の実績を基に、目標値を設定。			
	本指標の設定理由	本事業の目的を示す指標であるため									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	現存の公立直営保育所を拠点として、事業を実施できた。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響による事業停止、幼稚園の無償化に伴う入園の低年齢化等で利用者数は減少しているが、利用された保護者の育児不安解消等に寄与した。利用者のニーズに応じた支援を引き続き求めていく。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 副主幹	施設担当 鴨川 信介	連絡先 948-6412
	部等長名 井出 修敏	課等長名 好光 慎吾		担当者名 主事 立川 雅士	
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主査	施設担当 鴨川 信介	連絡先 948-6412
	部等長名 西岡 英治	課等長名 好光 慎吾		担当者名 主事 藤堂 裕人	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	11121	児童措置費国庫負担金等精算返納事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	7:その他
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	-		
取り組みの柱	地域が一体となって、子どもたちが安心して遊べ、親たちも互いに交流できる、親と子が集える拠点づくりを推進します。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	児童措置費国庫負担金等について、実績に基づき返還を行う。					
背景(どのような経緯で開始したか)	令和2年度概算払いで交付された国庫負担金等について実績の確定に伴い、返還を行う。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	国または県に対し返還を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	令和	元	～	令和	4	終期の種別 2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費		目	児童措置費	R3予算措置時期	12月補正
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						350,879			273,845		0
決算額(B)(単位:千円)						351,022			271,184		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0			0		0
			県支出金			0			0		0
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			351,022			271,184		0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								償還金利息及び割引料:271,184千円		償還金利息及び割引料:0円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								12月補正で273,845千円計上			
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			-143		2,661			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	保育所等の運営経費に関する国の負担金について、見込みによる概算額で交付されていたが、実績に基づき差額が発生したため、12月補正に計上し、適切に国へ返還を行った。										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり、国へ返還できた。							
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	4:どちらもない	左記の理由	貢献度を図る内容ではない								
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない					
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	該当なし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策								
R4年度の目標			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)								

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主査	整備	連絡先 948-6998
	部等長名 井出 修敏	課等長名 好光 慎吾		大西 一成	担当者名 主事 大森 康喜
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主査	施設整備	連絡先 948-6998
	部等長名 西岡 英治	課等長名 好光 慎吾		大西 一成	担当者名 主事 大森 康喜

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11122	私立保育施設等耐震化整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	313	個別プログラム	笑顔を守るプログラム
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる				重点プロジェクト	みんなで守り助け合う「安心して暮らせるまちづくり」プロジェクト
施策	子育て環境の充実と整備				主な取り組み	耐震化対策の推進
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約			
取り組みの柱	民間事業者による認定こども園や小規模保育事業所、事業所内保育等の整備を促進するとともに、公立保育所の計画的な施設更新を図るなど、保育施設等の整備に取り組みます。					
総合戦略	基本目標	-	取組み			
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	1:有り			

根拠法令,条例,個別計画等 松山市社会福祉施設建設費等補助金交付要綱

事業の目的(どのような状態にするか)	私立保育施設等の耐震化を図るため、既存園舎の改築整備に要する費用の一部を国・県の補助金を活用して助成する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	大規模な地震の発生に備え、園舎を耐震化することで園児等の生命身体を守る必要があるが、私立保育施設等の中には未耐震の園舎が残っているため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	<b>【対象】</b> 下記施設を運営する学校法人又は社会福祉法人。 ①保育所、認定こども園(地方裁量型を除く)、小規模保育事業所のうち、耐震化を図る施設。 ②幼稚園のうち、別で定める期日までに認定こども園(地方裁量型を除く)の認可又は認定を受ける見込みがあり、かつ耐震化を図る施設。 <b>【事業内容】</b> 松山市社会福祉施設整備審査会の審査を経て、補助事業者として選定された上記対象に対し、耐震化を目的とした園舎改築整備に要する費用の一部について、補助金を支出する。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	令和 3	～	令和 5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費		児童福祉費		R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						163,881		122,257	
決算額(B)(単位:千円)						36,981			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金					14,574		48,827	
	県支出金					10,169		32,558	
	市債					0		0	
	その他					0		0	
	一般財源					12,238		40,872	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算、R4→予算						補助金36,981千円		補助金122,077千円 報酬180千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等								予算額のうち、122,077千円は前年度繰越分	
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		0		126,900	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	認定こども園くに幼稚園の園舎改築工事に対する補助金の支出					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など	改築工事を年度内に完了することができず、やむを得ずR4年度に繰り越すこととなったため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本工事により、安全安心な保育環境を整備することができる。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	私立保育施設等の中には、未耐震の園舎が残っている。		環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組む改善策		耐震化が確認されていない補助対象施設に対し、本補助事業を案内することで、耐震化工事について働きかける。	
R4年度の目標	本事業を通じて、引き続き耐震化を推進することで、安全安心な保育環境の整備に努める。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		認定こども園くに幼稚園の園舎改築工事に対し、補助金を支出するとともに、松山市社会福祉施設整備審査会を開催し、R5年度補助事業者を選定する。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標			
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値			
			実績値						達成年度			
			達成度									
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
	本指標の設定理由											
		%	目標値							目標値		
			実績値						達成年度			
			達成度									
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
	本指標の設定理由											
	成果指標 (3つまで設定可)	未耐震の補助対象施設数	園	目標値				6	3	0	目標値	0
				実績値				8			達成年度	R5年度
達成度							33					
指標の種類		4.累計での減少を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		補助対象施設のうち、未耐震の園舎が0となることを目標とする。					
本指標の設定理由		本事業の達成度を示す指標であるため。										
		%	目標値							目標値		
			実績値						達成年度			
			達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由												
		%	目標値							目標値		
			実績値						達成年度			
	達成度											
指標の種類				最終目標値の設定の考え方								
本指標の設定理由												
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標											
	成果指標	1年で3園程度の耐震化を目標としていたが、R3年度は1園に留まっているため、引き続き本事業を通じて耐震化を進めていく必要がある。										
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容												

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主査	整備 大西 一成	連絡先 担当者名 主事 大森 康喜	948-6998
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主査	施設整備 大西 一成	連絡先 担当者名 主事 大森 康喜	948-6998

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11122	保育園庭芝生化事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約			
取り組みの柱	民間事業者による認定こども園や小規模保育事業所、事業所内保育等の整備を促進するとともに、公立保育所の計画的な施設更新を図るなど、保育施設等の整備に取り組みます。					
総合戦略	1363	基本目標	①つながる未来を応援する(少子化対策)	取組み	③ 保育所等待機児童の解消を目指して、認定こども園、保育所、地域型保育の保育定員を確保します。	
		政策	③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実			
		施策	⑥子育て拠点や居場所づくりの充実			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等	第2期松山市子ども・子育て支援事業計画					
事業の目的(どのような状態にするか)	保育所、家庭、地域が協力して保育園庭の芝生化を行い、園児がのびのびと遊べる環境を整えることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	全国的に保育所や学校の園庭・校庭を高度な技術や高い整備費を必要としない方法で芝生化する動きが盛んになり、子どもの運動能力の向上やケガの防止、園環境の向上などの効果が確認されたため、本市でも、市長の公約として平成23年度から事業を開始した。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	【対象】 市立保育園(実施の9園)に通う子ども、保護者と地域住民 【事業内容】 これまでに芝生化した市立保育園(朝美、八雲、山越、栗井、浅海、石井、生石、道後、余土)の園庭の芝生の維持管理と、よりよい管理方法の検討。 園庭芝生の発育を促すため、受託業者(株式会社愛媛庭園等)へ委託料を支出してメンテナンスを実施。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		
始期・終期(年度)	平成 23	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費		児童福祉費		R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				4,229		4,403		4,781	
決算額(B)(単位:千円)				3,977		4,135			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			3,977		4,135		4,781	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料:3,825千円 消耗品費:308千円 燃料費:1千円		委託料:4,154千円 消耗品費:362千円 工事請負費:110千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		252		268	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	これまでに芝生化した市立保育園9園の園庭の芝生の維持管理					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	芝生の効果として、子どもが園庭でのびのび遊ぶことができ、運動習慣の構築やコミュニケーション能力の向上、怪我の大幅な減少などの効果があった。また、園庭の砂埃が減少した。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	保育所内で園児がのびのびと遊べる環境を整えることに繋がった。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	芝生化面積が狭く、児童数の多い実施園は、芝生への負担が大きいため、部分的に擦り切れてしまう場合がある。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	芝生化面積が狭く、児童数の多い実施園での芝生の養生方策について、専門業者のアドバイスを得ながら検討を行っていく。	
R4年度の目標	これまでに芝生化した市立保育園9園の芝生の状態を良好に保つ。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	目砂散布等により、芝生の維持管理を行う。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	芝生化実施園数	園	目標値	9	9	9	9	9	目標値	9	
			実績値	9	9	9	9	達成年度	R5年度		
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	現在芝生化している園を継続して、維持管理を行う。			
	本指標の設定理由	芝生化に取り組んだ市立保育園の数を示す指標であるため。									
			目標値						目標値		
			実績値					達成年度			
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値						目標値			
		実績値					達成年度				
	%	達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値					達成年度			
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値					達成年度			
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	園庭の芝生のメンテナンスを行うことで、芝生化した市立保育所数を維持することができた。									
	成果指標										
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	園児の運動習慣の構築やコミュニケーション能力の向上に繋がっている。										

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主査	整備 大西 一成	連絡先 担当者名 主事 大森 康喜	948-6998
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主査	施設整備 大西 一成	連絡先 担当者名 主事 大森 康喜	948-6998

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11122	公立保育所臨時園舎設置事業(待機児童特別対策)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	214	個別プログラム	笑顔を育むプログラ
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる				重点プロジェクト	出会いから子どもの成長まで「つながる未来を応援するまちづくり」プロジェクト
施策	子育て環境の充実と整備		市長公約	122	主な取り組み	子どもの拠点・居場所づくり
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進				子育て環境を充実し、子どもたちの未来を応援する松山をつくります	
取り組みの柱	民間事業者による認定こども園や小規模保育事業所、事業所内保育等の整備を促進するとともに、公立保育所の計画的な施設更新を図るなど、保育施設等の整備に取り組みます。		取組み	3	保育所等待機児童の解消を目指して、認定こども園、保育所、地域型保育の保育定員を確保します。	
総合戦略	1363	基本目標 ①つながる未来を応援する(少子化対策) 政策 ③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実 施策 ⑥子育て拠点や居場所づくりの充実				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	1:有り		

根拠法令,条例,個別計画等	第2期松山市子ども・子育て支援事業計画					
事業の目的(どのような状態にするか)	第2期松山市子ども・子育て支援事業計画に基づき、待機児童解消を図るため、待機児童の多い市内南部及び西部地域に、応急的な対応として公立保育所の園庭に臨時園舎を設置することで、児童の受入数を増やすことを目的としている。					
背景(どのような経緯で開始したか)	市内南部及び西部地域での宅地開発により、保育需要が急増したため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	【対象】 主に市内南部及び西部地域の、保育を必要とする就学前の児童 【事業内容】 市内南部及び西部地域の公立保育所の園庭に臨時園舎を設置し、児童の受入数を増やす。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 25	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費		目	児童福祉施設費	R3 予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						3,256			15,177		7,503
決算額(B)(単位:千円)						3,189			11,619		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳			国支出金			0			0		0
			県支出金			0			0		0
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			3,189			11,619		7,503
主な経費(単位:千円) ※R3→決算、R4→予算								工事請負費:5,583千円 使用料及び賃借料:4,235千円 備品購入費:1,801千円	使用料及び賃借料:7,503千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等								公立保育所仮設園舎設置事業(待機児童特別対策)から、公立保育所臨時園舎設置事業(待機児童特別対策)へ名称変更			
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			67		3,558			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	保育園臨時園舎の借上げ					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など	臨時園舎は、通常の園舎と変わらない環境での保育が実施できており、受入数の増加にも貢献している。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	受入児童数が増加することで、待機児童数の減少に繋がった。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	保育所等利用児童数は増加傾向にあり、保育ニーズは高い状況にあるが、少子化が進む現状では、各地域の保育ニーズも減少傾向に転ずる可能性がある。また、全国的に保育士の確保が難しい状況だが、保育士が確保できている保育園であれば、臨時園舎を設置することで受入児童数の増加を図ることができる。		環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組む改善策		将来的な保育ニーズの増加要因や減少要因、保育園の保育士数等を踏まえ、味生保育園、つばき保育園、生石保育園の3園に臨時園舎を設置することで、児童の受入数を増やす。	
R4年度の目標	現在、臨時園舎を設置している味生保育園及びつばき保育園に加え、R3年度に臨時園舎を新設した生石保育園でも受入れを始めることで、これまで以上に受入児童数の増加を図るとともに、待機児童数の減少に繋げる。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		味生保育園、つばき保育園、生石保育園の3園について、引き続き臨時園舎借上げリース契約を行う。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	臨時園舎での受入児童数	人	目標値	70	70	70	85	85	目標値	85	
			実績値	59	45	41			達成年度	R5年度	
		%	達成度	84%	64%	59%					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	設置した臨時園舎を活用して受入児童数を増加させることで、本市の待機児童数の減少につながるため。				
	本指標の設定理由	臨時園舎の設置による効果を表す指標であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	待機児童数	人	目標値	0	0	0	0	0	目標値	0	
			実績値	33	42	25			達成年度	R5年度	
		%	達成度	0	0	0					
	指標の種類	2.単年度での減少を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第6次松山市総合計画に示す目標値であるため。				
	本指標の設定理由	本事業の達成度を示す指標であるため。(実績値は、前年度1年間の成果である翌年4月1日時点の数値を記載)									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	臨時園舎設置により、児童の受入れができていないが、保育士不足等、他の要因もあり、目標人数の達成が難しい。									
	成果指標	保育需要は今後も増加する見込みであるため、引き続き事業を実施して保育の場を提供していく必要がある。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主幹	総務担当 巻田 直樹	連絡先 担当者名 主査 松井 しのぶ	948-6998
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主幹	教育保育支援 巻田 直樹	連絡先 担当者名 主査 松井 しのぶ	948-6872

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11123	松山市保育所等職員研修事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	-		
取り組みの柱	休日保育や夜間保育、一時預かり、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		
	政策	-		-		
	施策	-		-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	保育所保育指針					
事業の目的(どのような状態にするか)	保育士や給食調理員に対する研修を行うことにより、保育の質の向上を図ることを目的としている。					
背景(どのような経緯で開始したか)	保育の質を向上するため、保育士や給食調理員に対する研修の実施が必要であるため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山市内の認可保育所(認定こども園保育所機能部分も含む)に勤務する職員、地域型保育施設(小規模保育園)等の職員を対象としている。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費		目	児童福祉総務費	R3予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						1,000			1,000		1,000
決算額(B)(単位:千円)						378			321		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳			国支出金			189			161		500
			県支出金			0			0		0
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			189			160		500
主な経費(単位:千円) ※R3→決算、R4→予算								委託料:321千円		委託料:1,000千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			622			679		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・松山市保育会への研修委託 ・中堅保育士研修会、保育士実技研修会、主任保育士研修会、給食担当者研修会、全体研修会 他					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など	新型コロナウイルス感染症対策の影響を受け、計画通りの実施とはいかなかったが、文書配布等で研修内容について学ぶことができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	公立、私立の各保育所から研修に参加することができ、保育の資質向上に寄与できたため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	保育士を確保することが困難になっている。その現状を踏まえ、保育士の定着に向けた研修、保育の質向上に向けた研修がさらに求められている。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け開催を危ぶまれている会もあるので、文書開催をするなどの臨機応変のある対応を検討していく必要がある。		環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組み改善策	新たに市の認可事業となった地域型保育(小規模保育等)事業者等への研修案内を増やして、研修への参加を啓発していく。また、職場への定着につながるような研修を行うこととする。		
R4年度の目標	保育士の経験年数を考慮した上で専門知識を高める内容等を取り入れ、保育の質の向上、保育士の資質の向上を目標とする。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	松山市保育会への研修委託 各種研修会への出席		

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主幹	総務 巻田 直樹	連絡先 担当者名 主査 越智 恵子	948-6872
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主幹	教育支援 巻田 直樹	連絡先 担当者名 主査 越智 恵子	948-6872

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11123	障害児保育支援事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	7:その他
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	-		
取り組みの柱	休日保育や夜間保育、一時預かり、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	各保育所等で障がい児等の相談を受ける事により、保育所等に入所している障がい児及び発達に気になる子どもの保護者に対する支援を行うことを目的とする。障がい児保育派遣研修により、児童発達支援センターでの実習や園内の施設支援などを通して、障がい児や発達に気になる子どもへの保育及び配慮に関する知識を習得し、実践に活かす。松山市内の保育士等を対象とした発達支援実践研修会を開催し、障がいに関する知識の習得、保育での支援のあり方を学び、実践に活かす。					
背景(どのような経緯で開始したか)	障がい児や発達に気になる子どもを受け入れるにあたり、保育士等の質の向上を図る必要があり、研修体制等を整備するもの。障がい児や発達に気になる子どもの家族の支援を行うための、相談体制等を整備するもの。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市内在住の障がいがある子ども、発達に気になる子どもとその保護者 市内幼稚園・保育所・認定こども園・地域型保育所等の職員 保育所等を利用して障がいがある子ども、発達に気になる子どもの保護者に対する相談の実施 子育てや子どもの発達に不安がある保護者とその保護者が保育所体験をし関わり方を学ぶ。 障がい児支援に関する各研修会への参加 障がい児保育支援に関する研修会の開催を行い、担当職員の資質の向上を図る。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	～ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費	R3予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				693			693		1,388	
決算額(B)(単位:千円)				475			508			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			177			166		459	
	県支出金			88			83		229	
	市債			0			0		0	
	その他			0			0		0	
	一般財源			210			259		700	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							報償費:254千円		報償費:508千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			218		185	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	各保育所、児童館に訪問し相談対応 保育所等や保護者からの電話相談 障がい児保育に関して研修参加 市内保育所等への障がい児について、職員研修開催 トリアルP、親子教室での育児に不安のある保護者支援 医師相談による、保育士等職員及び保護者支援					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	当初見込んでいた同等程度の相談があった。また、例年通りの研修会に参加することができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	障がいのある子どもや、その保護者への支援ができていた。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	発達障がい疑われるが、子どもを取り巻く環境などから支援に結び付きにくいケースがあり、対応が難しい。 相談件数は増加傾向にある。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		対象児の多様化と増加傾向にあることから、相談体制の拡充と関係機関との連携強化。
R4年度の目標	昨年度より継続して、各園・児童館を訪問し相談対応を行う。 各種研修会への参加により、相談対応職員の資質向上を図る。 医師相談を拡充したことにより、保育士等からの相談の充実を図る。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		各保育所・児童館に訪問し、相談対応。 発達及び入園に関する電話相談。 親子教室や前向き子育てプログラムによる、子どもの発達に不安がある保護者支援。 障がい児保育に関する研修会への参加。 市内保育所等職員への研修開催。 医師相談による、市内の子育て家庭や保育士等の相談支援。

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 副主幹	施設 鴨川 信介	連絡先 担当者名	948-6412	宗岡 愛
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主査	施設 鴨川 信介	連絡先 担当者名	948-6882	武井 晶

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施設コード)	11123	施設型給付保育所事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-		
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-		
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	-			
取り組みの柱	休日保育や夜間保育、一時預かり、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実を図ります。			-			
総合戦略	1363	基本目標 ①つながる未来を応援する(少子化対策) 政策 ③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実 施策 ⑥子育て拠点や居場所づくりの充実	取組み	③ 保育所等待機児童の解消を目指して、認定こども園、保育所、地域型保育の保育定員を確保します。			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	児童福祉法、子ども・子育て支援法						
事業の目的(どのような状態にするか)	子ども・子育て支援新制度を円滑に実施するため、私立保育所に係る経費を支弁することにより、保育を必要とする子どもに対する保育の提供と地域の子育て支援の場となることを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	平成27年度からの子ども・子育て支援新制度の創設に伴い、私立保育所を対象とした財政支援制度として開始した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	私立保育所にかかる運営費を、私立保育所へ委託料として支出している。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合 基準や金額等 「無し」の場合、その理由	松山市子ども・子育て支援法施行条例、松山市子ども・子育て支援法施行細則に基づき、世帯の収入に応じた金額を負担。			
始期・終期(年度)	平成	27	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童措置費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度			R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)				2,347,295			2,422,884			2,368,016
決算額(B)(単位:千円)				2,282,374			2,260,366			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳 R4→予算内訳	国支出金			1,118,683			1,140,106			1,076,497
	県支出金			475,831			465,114			520,303
	市債			0			0			0
	その他			196,771			201,611			192,704
	一般財源			491,089			453,535			578,512
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算							委託料:2,259,535千円			委託料:2,367,366千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			64,921			162,518

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	私立保育所に対し、運営等に関する費用を運営委託料として支弁する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	概ね予定通りに事業が実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	適切に運営費を支弁することにより、各施設での教育・保育を実施することができたため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし
R4年度の目標	保育所等の運営に関する経費を委託料として適切に支弁する。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		各施設からの加算認定の申請に基づき、入所児童数を確認したうえで、適切に委託料を支払う。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	保育所等入所児童数	人	目標値	7,655	8,225	8,399	8,615	8,791	目標値	8,791	
			実績値	7,523	8,413	8,467			達成年度	R5年度	
			% 達成度	98	102	101					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	松山市子ども・子育て支援事業計画に基づく、保育の量の見込みを目標としている。			
	本指標の設定理由	松山市子ども・子育て支援事業計画に基づく、保育の量の見込みが事業実施上、参考となる指標であるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	待機児童数	人	目標値	0	0	0	0	0	目標値	0	
			実績値	33	42	25			達成年度	R5年度	
			% 達成度	0	0						
	指標の種類	2.単年度での減少を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	第6次松山市総合計画に示す目標値であるため。			
	本指標の設定理由	本事業の目的とする指標であるため。 (実績値については、前年度1年間の成果である翌年4月1日時点の数値を記載)									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	入所定員に対して、高い入所率となっており、保育所での保育実施が適切に行われている。									
	成果指標	保育需要は高い状態が続いているため、引き続き事業を実施して保育の場を提供していく必要がある。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名	保育・幼稚園課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6224			
	部等長名	井出 修敏	課等長名	好光 慎吾	リーダー名	副主幹	鴨川 信介	担当者名	主任	崎山 莉絵	
令和3年度	部局等名	保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名	保育・幼稚園課	担当グループ名	運営	連絡先	948-6224			
	部等長名	西岡 英治	課等長名	好光 慎吾	リーダー名	主査	鴨川 信介	担当者名	主任	崎山 莉絵	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11123	延長保育事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	-		
取り組みの柱	休日保育や夜間保育、一時預かり、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実を図ります。			-		
総合戦略	1345	基本目標	①つなげる未来を応援する(少子化対策)	取組み	⑤ 通常の保育時間以外に保育する「延長保育」、一時的に保育が必要となった際の「一時預かり」、病気の子どもを家庭で保育できない場合に医療機関で保育する「病児・病後児保育」など、保護者の育児への負担感の軽減や、子育てと就労との両立支援に取り組みます。	
		政策	③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実			
		施策	④子育て支援の充実			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、松山市延長保育事業実施要綱、松山市子ども・子育て支援事業計画						
事業の目的(どのような状態にするか)	保護者の就労形態の多様化及び通勤時間の増加等に伴う延長保育の需要に対応することにより児童福祉の増進を図る。						
背景(どのような経緯で開始したか)	保護者の就労形態の多様化に伴う延長保育の需要に対応し、児童福祉の向上を図るため、開所時間を超えた保育を取組む場合に補助を行うことで安心して子育てができる環境を整備し、事業を開始した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:松山市内の認可保育所等に入所中の児童(保護者)。 負担金交付先:私立保育所、私立認定こども園、小規模保育事業実施施設、事業所内保育事業実施施設						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	施設により異なる。			
始期・終期(年度)	昭和	59	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費		目	児童措置費	R3 予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						69,842			69,677		71,216
決算額(B)(単位:千円)						51,539			50,082		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳			国支出金			26,793			50,805		23,405
			県支出金			21,893			16,552		23,405
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			2,853			-17,275		24,406
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算								負担金補助及び交付金:50,082千円		負担金補助及び交付金:71,216千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)	18,303		19,595		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	保育所等で延長保育を実施。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など	予定通りに事業が実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	事業実施により、保護者の就労条件に合った保育が可能になり、保護者の利便性が向上した。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症対策や働き方改革の影響によると思われる、利用者の減少傾向がみられる。		環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組む改善策		特になし	
R4年度の目標	保護者のニーズに合った適切な延長保育を実施する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		各施設からの負担金申請に対し、平均対象児童数、実施延長時間、実績報告書等を確認、精査したうえで、適切に給付を行う。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	実施施設	施設	目標値	90	90	90	90	90	目標値	90	
			実績値	90	112	112			達成年度	R5年度	
		%	達成度	100	124	124					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		共働き家庭の増加、働き方改革などを踏まえて設定。			
	本指標の設定理由	保護者の就労形態のニーズに対応するため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	利用人数	人	目標値	3,180	3,641	3,563	3,563	3,563	目標値	3,563	
			実績値	3,587	3,339	3,246			達成年度	R5年度	
		%	達成度	113	92	91					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		松山市子ども・子育て支援事業計画に基づく量の見込みを目標としている。			
	本指標の設定理由	保護者の就労形態のニーズに対応するため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	就労形態の多様化に伴う延長保育ニーズの増加に対応できている。									
	成果指標	利用人数の減少には、新型コロナウイルス感染症の影響による景気の悪化から就労者が減少したことや、働き方改革による時間外労働の減少の影響が考えられる。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 副主幹	施設担当 鴨川 信介	連絡先 担当者名 主事 藤堂 裕人	948-6412
部等長名	井出 修敏	課等長名	好光 慎吾		主事 宗岡 愛	
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主査	運営 鴨川 信介	連絡先 担当者名 主事 藤堂 裕人	948-6412
部等長名	西岡 英治	課等長名	好光 慎吾			

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11123	一時預かり事業(私立分)	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-		
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-		
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	-			
取り組みの柱	休日保育や夜間保育、一時預かり、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実を図ります。			-			
総合戦略	1345	基本目標	①つながる未来を応援する(少子化対策)				
		政策	③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実				
		施策	④子育て支援の充実				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、松山市一時預かり事業実施要綱、松山市子ども・子育て支援計画						
事業の目的(どのような状態にするか)	保護者の就労や、傷病・入院、災害・事故、育児等に伴う心理的、肉体的負担の解消などにより、緊急かつ一時的な保育の実施を促進するため、一時預かり事業の実施に必要な運営費等を支払う。						
背景(どのような経緯で開始したか)	保育所等を利用していない家庭でも、日常生活の突発的な事象や社会参画などにより、一時的に家庭での保育が困難になる場合がある。また、育児疲れによる保護者の心理的・身体的負担を軽減するための支援として事業が開始された。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山市在住の未就学児や里帰り出産等の理由で一時的に保育を必要とする子どもに対して、一時預かり事業を実施する施設に対して、事業実施に必要な運営費等を支払う。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り		「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	施設により異なる。		
始期・終期(年度)	平成	2	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費		目	児童措置費	R3 予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						297,235			295,501		259,769
決算額(B)(単位:千円)						216,944			213,248		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			103,806			101,025		86,588
			県支出金			84,882			81,152		86,588
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			28,256			31,071		86,593
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								負担金213,248千円		負担金259,769千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			80,291			82,253		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	保育所等で一時預かり事業を実施。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	待機児童の受け皿として寄与している。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、受入数を縮減している、または一時的に一時的に事業を停止していた施設があったため、十分な受け皿を準備できていない場合があり、利用児童数の減少につながった。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	事業未実施の施設に対して、事業の周知や実施を促すことで、待機児童の受け皿増加につなげる。		
R4年度の目標	一時保育が必要な児童が、十分な保育が提供できる状態を目指す。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	保育士の確保状況などを踏まえながら、事業実施施設数の増加に取り組む。		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	実施施設数	施設	目標値	85	85	85	85	85	目標値	85	
			実績値	85	88	88			達成年度	R5年度	
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	実施施設数を増やしたいものの、保育士の確保が難しい状況などを踏まえて設定。				
	本指標の設定理由	より多くの子どもを預かることのできる環境を作るため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	待機児童数	人	目標値	0	0	0	0	0	目標値	0	
			実績値	33	42	25			達成年度	R5年度	
		%	達成度								
	指標の種類	2.単年度での減少を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第6次松山市総合計画に示す目標値であるため。				
	本指標の設定理由	本事業をより効果的に実施することにより、待機児童の解消の一助を担うため。(実績値については、前年度1年間の成果であるよ翌年4月1日時点の数)									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	適切に情報を提供し、引き続き十分な受け皿が確保できるよう準備していく。									
	成果指標	保育需要が増加するなか、一時預かり事業の利用対象者は保育園への入園希望をしている保護者だけでなく、リフレッシュを目的とした保護者も利用しており、今後も引き続き利用ニーズはある見込みである。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 副主幹	施設担当 鴨川 信介	連絡先 担当者名 主任 崎山 莉絵	948-6412
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主査	施設担当 鴨川 信介	連絡先 担当者名 主任 崎山 莉絵	948-6412

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	11123	地域型保育給付事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	-		
取り組みの柱	休日保育や夜間保育、一時預かり、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実を図ります。			-		
総合戦略	1363	基本目標 ①つながる未来を応援する(少子化対策)	取組み	③ 保育所等待機児童の解消を目指して、認定こども園、保育所、地域型保育の保育定員を確保します。		
		政策 ③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実				
		施策 ⑥子育て拠点や居場所づくりの充実				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						

事業の目的(どのような状態にするか)	地域型保育事業に対する給付で、小規模保育、事業所内保育を実施する施設の運営に係る経費を支弁することにより、待機児童の中心である3歳未満児の保育需要を満たす。					
背景(どのような経緯で開始したか)	平成27年度から施行した「子ども・子育て支援新制度」で、新たに市町村の認可の事業となった。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山市内の地域型保育事業(小規模保育事業・事業所内保育事業・家庭的保育事業)に対する運営費の支弁。					
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合 基準や金額等「無し」の場合、その理由	松山市子ども・子育て支援法施行条例、松山市子ども・子育て支援法施行細則に基づき、世帯の収入に応じた金額を負担。		
始期・終期(年度)	平成	27	～	令和	4	終期の種別 2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費		児童福祉費	目	児童措置費	R3 予算措置時期	当初
				項	目					
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				1,266,598		1,331,174		1,468,398		
決算額(B)(単位:千円)				1,239,293		1,265,689				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳 R4→予算内訳	国支出金			559,846		733,259		725,207		
	県支出金			212,597		267,884		350,203		
	市債			0		0		0		
	その他			0		0		0		
一般財源				466,850		264,546		392,988		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算						負担金補助及び交付金:1,265,688円		負担金補助及び交付金:1,468,308円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		27,305		65,485		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	小規模保育施設24施設、事業所内保育施設8施設への運営費の支弁					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通りに事業が実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	適切に運営費を支弁することにより、各施設での保育を実施することができたため			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし。	
R4年度の目標	地域型保育事業の運営に関する経費を負担金として適切に支弁する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		各施設からの給付費の申請に対し、入所児童数や加算内容等を確認、精査したうえで、適切に給付を行う。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	利用定員に対する入所児童	人	目標値	558	558	575	575	575	目標値	575	
			実績値	603	626	616			達成年度	R5年度	
		%	達成度	102	108	107					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	各年度で定員に対する入所率を確認することによって、事業の実施状況を確認する。			
	本指標の設定理由	3歳未満児の保育供給量を把握するため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
	%	達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	待機児童数	人	目標値	0	0	0	0	0	目標値	0	
			実績値	33	42	25			達成年度	令和5年度	
		%	達成度								
	指標の種類	2.単年度での減少を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	第6次松山市総合計画に示す目標値であるため。			
	本指標の設定理由	本事業の目的とする指標であるため。 (実績値については、前年度1年間の成果である翌年4月1日時点の数値を記載)									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
	%	達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	入所定員に近い入所率となっており、地域型保育事業での保育の提供が十分に行われている状況である。									
	成果指標	保育需要は高い状態が維持されているため、引き続き事業を実施して保育の場を提供していく必要がある。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名	保育・幼稚園課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6412	
	部等長名	井出 修敏	課等長名	好光 慎吾	リダー名	副主幹	鴨川 信介	担当者名	主事 西山 佳那
令和3年度	部局等名	保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名	保育・幼稚園課	担当グループ名	運営	連絡先	948-6412	
	部等長名	西岡 英治	課等長名	好光 慎吾	リダー名	主査	鴨川 信介	担当者名	主任 崎山 莉絵

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11123	病児・病後児保育事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	-		
取り組みの柱	休日保育や夜間保育、一時預かり、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実を図ります。			-		
総合戦略	1345	基本目標	①つなげる未来を応援する(少子化対策)	取組み	⑤ 通常の保育時間以外に保育する「延長保育」、一時的に保育が必要となった際の「一時預かり」、病気の子どもを家庭で保育できない場合に医療機関で保育する「病児・病後児保育」など、保護者の育児への負担感の軽減や、子育てと就労との両立支援に取組みます。	
		政策	③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実			
		施策	④子育て支援の充実			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等 児童福祉法、子ども・子育て支援法、松山市病児・病後児保育事業実施要綱、松山市子ども・子育て支援事業計画

事業の目的(どのような状態にするか)	保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的とし、保護者が就労している場合等で、病気中の子ども(小学6年生まで)を家庭で保育できない場合に、病児保育実施施設にて一時的な預かり保育を行うほか、保育中に体調不良となった子どもの保育所等から同施設までの送迎を行う。						
背景(どのような経緯で開始したか)	少子化問題検討委員会の提言を受け、新規事業として、平成13年度から乳幼児健康支援一時預かり事業を実施し、その後「病児・病後児保育事業」に名称変更。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山市内に居住、または連携事業に基づき伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町に居住する小学校6年生以下で、疾患の回復期又は回復期に至らず、集団での保育又は教育が困難かつ保護者の就労の状況等やむを得ない事由により、家庭での保育が困難な児童を一時的に預かり保育を行う病児保育実施施設に委託料を支出する。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由	利用料金:日額2,000円、市町村民税均等割のみが課税されている世帯:1,000円(生活保護受給世帯・市町村民税非課税世帯は無料)			
始期・終期(年度)	平成	14	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童措置費	R3 予算措置時期		当初
									R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						122,521		121,521			111,483
決算額(B)(単位:千円)						95,532		80,230			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳			国支出金			30,472		32,656			35,187
			県支出金			30,472		24,131			35,187
			市債			0		0			0
			その他			0		5			0
			一般財源			34,588		23,438			41,109
主な経費(単位:千円) ※R3→決算、R4→予算							委託料:78,724千円		委託料:106,744千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)	26,989	41,291			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	保護者の就労等で、家庭で保育できない病気中の子どもの一時的な預かり保育を市内4施設で実施。うち、2施設では、保育所等から同施設までの送迎対応もを行っている。連携事業に基づき伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町に居住する小学6年生以下の子どもも、施設の利用が可能。令和3年度は、利用者の利便性向上や、病児保育施設の利用率向上を目的として、令和4年度の運用に向けて予約システムを導入するなど病児保育のICT化を行った。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など	利用ニーズに対して十分な量の確保ができたため。また、当初の予定通り予約システムの導入を進めることができたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	病気の子どもの病児保育施設で預かることにより、保護者の仕事と子育ての両立の支援ができていたため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症流行に伴い、全国的に病児保育施設の利用率が落ち込んでいる。感染防止対策の徹底や、利用ニーズの回復が喫緊の課題。		環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組む改善策		感染防止対策の徹底を図る。	
R4年度の目標	病児・病後児保育の利用ニーズに対する供給量を継続して確保する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		4施設に事業を委託し、病児・病後児保育を実施する。また、R4年度から運用が始めた、スマートフォン等から病児保育施設の手約・キャンセル等を可能とする予約システムを、適切に運用していく。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	実施施設数	施設	目標値	4	4	4	4	4	目標値	4	
			実績値	4	4	4	4	4	達成年度	R5年度	
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	松山市子ども・子育て支援事業計画での設定			
	本指標の設定理由	松山市子ども・子育て支援事業計画での設定									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
	%	達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	利用人数	人	目標値	6,600	7,800	2,800	5,600	5,600	目標値	5,600	
			実績値	5,527	1,662	3,151			達成年度	R5年度	
		%	達成度	84	22	113					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、令和2年度では、利用者が例年の30%程度に落ち込んでいることから、令和3年度では、感染症流行前の実績値の半数まで利用者数を回復させ、令和4年度までに、感染症流行前の実績値まで利用者数を回復させることを目指す。			
	本指標の設定理由	利用者数が増加することは、必要な際に本事業を利用できるという保護者のニーズにこたえることであり、子育て支援につながるため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
	%	達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	設置目標数を達成している。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数は影響前に比べて落ち込んでいるが、だんだんと持ち直しつつある。また、各施設で従来通りの面積や配置保育士を確保しており、柔軟な受け入れができています。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 副主幹	施設担当 鴨川 信介	連絡先 948-6412
	部等長名 井出 修敏	課等長名 好光 慎吾		担当者名 主任 金子 陽平	
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主査	施設担当 鴨川 信介	連絡先 948-6412
	部等長名 西岡 英治	課等長名 好光 慎吾		担当者名 主査 鴨川 信介	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11123	施設型給付認定こども園事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-		
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-		
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	-			
取り組みの柱	休日保育や夜間保育、一時預かり、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実を図ります。			-			
総合戦略	1363	基本目標 ①つなげる未来を応援する(少子化対策) 政策 ③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実 施策 ⑥子育て拠点や居場所づくりの充実	取組み	③ 保育所等待機児童の解消を目指して、認定こども園、保育所、地域型保育の保育定員を確保します。			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	児童福祉法、子ども・子育て支援法						
事業の目的(どのような状態にするか)	認定こども園に運営に係る経費を支弁することにより、保育・教育を必要とする子どもに対する保育・教育の提供と地域の子育て支援の場となることを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	平成18年に就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律(認定こども園法)が施行された。平成27年度からは、子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、施設型給付認定こども園事業に名称変更した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市内に設置されている認定こども園にかかる運営費用を給付費として給付する。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由	松山市子ども・子育て支援法施行条例、松山市子ども・子育て支援法施行細則に基づき、世帯の収入に応じた金額を負担。			
始期・終期(年度)	平成	18	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童措置費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				5,584,886		5,975,826		6,353,229		
決算額(B)(単位:千円)				5,678,280		5,675,646				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			2,775,395		2,686,756		2,901,902		
	県支出金			1,516,483		1,475,143		1,672,441		
	市債			0		0		0		
	その他			0		0		0		
一般財源			1,386,402		1,513,747		1,778,886			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算、R4→予算						負担金補助及び交付金:5,675,244千円		負担金補助及び交付金:6,352,889千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等						流用による増あり				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		-93,394		300,180		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	認定こども園に対し、運営費を支弁する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など	予定通りに事業が実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	適切に運営費を支弁することにより、各施設での教育・保育を実施することができたため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	特になし。		環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組む改善策		特になし。	
R4年度の目標	運営に関する経費を給付費として適切に給付する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		各施設からの給付費の申請に基づき、入所児童数を確認したうえで、適切に給付費を支給	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	認定こども園の利用定員に対する入所者数	人	目標値	6,748	6,757	6,916	6,903	6,903	目標値	6,903	
			実績値	6,743	6,838	6,747			達成年度	R5年度	
		%	達成度	99	100	98					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	各年度で対象となる認定こども園の入所率を確認することによって、事業の実施状況を確認する。				
	本指標の設定理由	目標値は、利用定員の合計であり、事業の実施上、参考となる指標であるため。(実績値は3月時点での入所者数)									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	待機児童数	人	目標値	0	0	0	0	0	目標値	0	
			実績値	33	42	25			達成年度	R5年度	
		%	達成度	0	0	0					
	指標の種類	2.単年度での減少を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第6次松山市総合計画に示す目標値であるため				
	本指標の設定理由	本事業の目的とする指標であるため。(実績値については、前年度1年間の成果である翌年4月1日時点の数値を記載)									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	入所定員に対して、高い入所率となっており、認定こども園での教育・保育実施が適切に行われている。									
	成果指標	保育需要は高い状態が続いているため、引き続き事業を実施して保育の場を提供していく必要がある。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名	保育・幼稚園課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6412				
	部等長名	井出 修敏	課等長名	好光 慎吾	リーダー名	副主幹	鴨川 信介	担当者名	主事	藤堂 裕人	主事	武井 晶
令和3年度	部局等名	保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名	保育・幼稚園課	担当グループ名	運営	連絡先	948-6412				
	部等長名	西岡 英治	課等長名	好光 慎吾	リーダー名	主査	鴨川 信介	担当者名	主事	武井 晶		

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11123	商店街保育事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-		
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-		
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	122	子育て環境を充実し、子どもたちの未来を応援する松山をつくります		
取り組みの柱	休日保育や夜間保育、一時預かり、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実を図ります。			児童クラブや遊び場を充実するなど、子どもの居場所づくりを進めます。国の幼児教育・保育の無償化に適切に対応しながら、引き続き待機児童の解消を目指します。			
総合戦略	1345	基本目標	①つながら未来を応援する(少子化対策)	取組み	⑤ 通常の保育時間以外に保育する「延長保育」、一時的に保育が必要となった際の「一時預かり」、病気の子どもを家庭で保育できない場合に医療機関で保育する「病児・病後児保育」など、保護者の育児への負担感の軽減や、子育てと就労との両立支援に取り組みます。		
		政策	③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実				
		施策	④子育て支援の充実				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	児童福祉法、子ども・子育て支援法						
事業の目的(どのような状態にするか)	商店街の空き店舗を活用した保育室の整備を行い、小規模保育事業を実施することで、保育ニーズの高い中心部の3歳未満児の保育定員の拡充を図るとともに、一時的に児童を預かる託児事業や子育て相談事業を併せて行うことで、商店街にきた子ども連れ世帯の利便性の向上と商店街の活性化にも寄与することを図る。						
背景(どのような経緯で開始したか)	以前から本市では、待機児童対策は重要な課題となっている。このような状況のなかで、商店街での保育事業の実施は、商店街やその周辺で就労している保護者からの需要は高く、併せて一時的に子どもを預かる託児事業や子育て相談事業を展開することで、商店街に子ども連れで来る方の利便性の向上にもつながることから、平成24年3月から本委託事業を開始した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	小規模保育事業、託児事業、子育て相談事業を実施している事業者に対し、委託料を支出。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合基準や金額等 「無し」の場合、その理由	小規模保育事業に係る保育料は、市で定める認可保育所の保育料。託児事業に係る保育料は、最初の1時間までが400円、以降30分毎に200円。			
始期・終期(年度)	平成	23	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費		目	児童措置費	R3 予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						50,437			52,194		51,963
決算額(B)(単位:千円)						42,060			41,011		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金					22,594			14,105		22,638
	県支出金					8,580			5,100		10,995
	市債					0			0		0
	その他					2,860			2,606		3,054
一般財源					8,026			19,200		15,276	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算						委託料37,892千円		委託料48,777千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				8,377		11,183			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	小規模保育事業、託児事業、子育て相談事業の実施										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			コロナ禍で、感染対策を講じたうえで可能な範囲で各事業を継続した。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		待機児童数の減少に貢献している。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	コロナ禍で一時的に事業を停止した。事業を継続するため、マスク着用・手洗いの実施・アルコール消毒・換気などの対策を徹底する必要がある。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		コロナ禍で安全に事業を継続するため、感染対策を徹底する。			
R4年度の目標	保育の利用を希望する子どもの受け入れと、託児事業および子育て相談事業の利用者数の増加を目指す。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・小規模保育事業 ・託児事業 ・子育て相談事業			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標			
活動指標 (3つまで設定可)	保育事業の受入児童数(各年度3月時点)	人	目標値	18	18	18	18	18	目標値	18		
			実績値	15	18	18	18	達成年度	R5年度			
		%	達成度	83	100	100						
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		受入れ可能な児童数(定員)までの受入れ。					
	本指標の設定理由	目標値は、利用定員の合計であり、事業の実施上、参考となる指標であるため。(実績値は3月時点での入所者数)										
	1日当たりの平均託児児童数	人	目標値	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	目標値	6.0		
			実績値	2.5	2.1	1.7			達成年度	R5年度		
		%	達成度	42	33	28						
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		実施日に配置している保育士2人が、0歳児の保育をするうえで配置基準上受け入れ可能となる最大値6人を目標値に設定する。					
	本指標の設定理由	本事業の実施状況を図るため、参考となる指標であるため。										
			目標値						目標値			
			実績値						達成年度			
		%	達成度									
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
	本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	待機児童数	人	目標値	0	0	0	0	0	目標値	0		
			実績値	33	42	25			達成年度	R5年度		
		%	達成度	0	0	0						
	指標の種類	2.単年度での減少を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		第6次松山市総合計画に示す目標値であるため。					
	本指標の設定理由	本事業の目的の一つが、待機児童数の減少であるため。										
				目標値						目標値		
				実績値						達成年度		
			%	達成度								
		指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
		本指標の設定理由										
			目標値						目標値			
			実績値						達成年度			
		%	達成度									
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
	本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	保育事業は目標を達成しており、託児事業は、更に利用増を見込める余地がある。										
	成果指標	保育需要は増加しているため、引き続き事業を実施して保育の場を提供していく必要がある。										
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容												

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 副主幹	施設担当 今井 元子	連絡先 948-6224
	部等長名 井出 修敏	課等長名 好光 慎吾		担当者名 副主幹 今井 元子	
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 副主幹	運営指導担当 今井 元子	連絡先 948-6224
	部等長名 西岡 英治	課等長名 好光 慎吾		担当者名 主事 大内 智絵	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11123	幼稚園長時間預かり保育支援事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	-		
取り組みの柱	休日保育や夜間保育、一時預かり、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市幼稚園預かり保育事業運営・整備補助金交付要綱					
事業の目的(どのような状態にするか)	待機児童解消を図るため、幼稚園を11時間以上にわたり開園し、通常の教育時間の前後や長期休業期間中などに長時間の預かり保育を実施し、認定こども園への移行を目指す私立幼稚園に対し、運営費の支援を行う。					
背景(どのような経緯で開始したか)	待機児童の解消を図るために、幼稚園の認定こども園への移行を促進する必要性が高まったため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をするのか)	幼稚園を9時間以上にわたり開園し、通常の教育時間の前後や長期休業中などに幼稚園の園児のうち希望者を対象に行う長時間預かり保育を実施する、認定こども園への移行を目指す私立幼稚園。 ①私立幼稚園に補助制度の周知 ②私立幼稚園に対象児童の認定の通知 ③私立幼稚園へ交付決定の通知 ④私立幼稚園からの実績報告の確認 ⑤私立幼稚園へ補助金を支出					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 26 ~ 令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童措置費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						0		0		0
決算額(B)(単位:千円)						0		0		0
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0		0		0	
	県支出金				0		0		0	
	市債				0		0		0	
	その他				0		0		0	
	一般財源				0		0		0	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						当初予算計上なし		当初予算計上なし		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		0		0		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	私立幼稚園に補助事業の周知					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	補助事業については、私立幼稚園に事業が周知されており、意向を適切に反映できた		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	幼稚園での長時間預かりの実施、幼稚園の認定こども園への移行により、待機児童の解消に貢献している。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	例年、対象調査をして該当があるかを把握している現状。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		
R4年度の目標				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	補助対象者の利用率	%	目標値	100	100	100	100	100	目標値	100	
			実績値	100	100	100	100	100	達成年度	R6年度	
		%	達成度	100	100	100	100	100			
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		すべての対象施設の利用促進を示す目標値であるため 第2期松山市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度から令和6年度)			
	本指標の設定理由	子育て環境の充実と整備に寄与する指標であるため									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	待機児童数	人	目標値	0	0	0	0	0	目標値	0	
			実績値	33	42				達成年度	令和6年度	
		%	達成度								
	指標の種類	2.単年度での減少を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		第6次松山市総合計画に示す目標値であるため			
	本指標の設定理由	子育て環境の充実を示す指標であるため									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	補助対象施設の利用率100%を維持しており、今後も継続して事業の周知に努める。									
	成果指標	保育需要は増加しているため、引き続き待機児童の多い3歳未満児の保育供給量の確保に努める。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リーダー名 副主幹	施設担当 今井 元子	連絡先 担当者名 主事 武井 晶	948-6412	主事 宗岡 愛
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リーダー名 副主幹	運営指導担当 今井 元子	連絡先 担当者名 主事 武井 晶	948-6412	主事 宗岡 愛

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	11123	保育士等確保支援事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	214	個別プログラム	笑顔を育むプログラ
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる				重点プロジェクト	出会いから子どもの成長まで「つながる未来を応援するまちづくり」プロジェクト
施策	子育て環境の充実と整備		市長公約	122	主な取り組み	子どもの拠点・居場所づくり
主な取り組み	子育てで拠点や居場所づくりの推進				子育て環境を充実し、子どもたちの未来を応援する松山をつくります	
取り組みの柱	休日保育や夜間保育、一時預かり、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実を図ります。		取組み	3	保育所等待機児童の解消を目指して、認定こども園、保育所、地域型保育の保育定員を確保します。	
総合戦略	1363	基本目標 ①つながる未来を応援する(少子化対策) 政策 ③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実 施策 ⑥子育てで拠点や居場所づくりの充実				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	保育対策総合支援事業費補助金交付要綱、保育士資格取得支援実施要綱、保育体制強化事業実施要綱、松山市保育士資格取得支援事業補助金交付要綱					
事業の目的(どのような状態にするか)	保育の担い手となる保育人材の確保に努め、待機児童の解消を図るとともに、子どもを安心して育てることができる環境整備を行う。					
背景(どのような経緯で開始したか)	保育士不足により、保育士確保の必要性が高まった。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	【保育士資格取得支援事業】保育所等に就労する保育士資格を有していない保育従事者、幼稚園教諭免許状を有する者で保育士資格を有していない者を対象に、保育士資格を取得する際の経費を補助 【保育体制強化事業】保育所等(保育所型認定こども園含む)、幼保連携型認定こども園を対象に、保育士の負担軽減のため保育支援者雇入経費を補助					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 26	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費		児童福祉費		R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				49,195		49,287		69,237	
決算額(B)(単位:千円)				12,690		17,104			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			24,437		24,433		43,085	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
一般財源				-11,747		-7,329		26,152	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						負担金補助及び交付金:16,869千円		負担金補助及び交付金:68,170千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		36,505		32,183	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・保育士資格取得者への補助を行う。 ・保育士への業務負担軽減のための保育支援者の雇用に対する補助を行う。 ・新任保育士への職場定着研修の実施や高校生等へ保育士の職業についての普及啓発を行う。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定とおり実施できた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	保育士の負担軽減に寄与している。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			
R4年度の目標	・保育士資格取得者への補助金を交付することで、資格取得にかかる費用の負担を軽減し、保育士資格者の確保に寄与する。 ・保育支援者の雇用に対する補助や高等学校等へ保育士の職業についての普及啓発を行うことで新たな保育士の確保に寄与する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・保育士資格取得者への補助金交付。 ・保育士支援者の雇用に関する補助申請施設へ補助金交付。 ・研修や保育士の普及啓発の講師依頼。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標	
活動指標 (3つまで設定可)	計画書受理数 (保育士資格取得支援事業)	人	目標値	40	43	43	46	46	目標値	46
			実績値	40	40	40			達成年度	R5年度
		%	達成度	100	93	0				
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標								
	本指標の設定理由	本事業(保育士資格取得支援事業)により、資格を取得をめざす人数を指標とするため。					最終目標値の設定の考え方		子ども・子育て支援新制度の開始から5年以上が経過し、認定こども園への移行も落ち着いてきたことや、認定こども園に勤務する職員の保育士資格取得も進んできたことから、これまでの実績の計画数は見込めない。	
	補助対象施設 (保育体制強化事業)	施設	目標値	35	35	35	35		目標値	
			実績値	9	14	17			達成年度	
		%	達成度	25	40	48				
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標								
	本指標の設定理由	この補助を利用し、支援者を雇った施設を指標とするため。					最終目標値の設定の考え方		これまでの交付申請施設数を考慮し、設定。	
		目標値						目標値		
		実績値						達成年度		
	%	達成度								
指標の種類										
本指標の設定理由						最終目標値の設定の考え方				
成果指標 (3つまで設定可)	保育士資格取得者数	人	目標値	39	43	43	46	46	目標値	46
			実績値	39	39	40			達成年度	R5年度
		%	達成度	100	90	93				
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標								
	本指標の設定理由	本事業の目的とする指標であるため。					最終目標値の設定の考え方		計画受理数と同人数の資格取得者を見込んでいる。	
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類									
	本指標の設定理由						最終目標値の設定の考え方			
		目標値						目標値		
		実績値						達成年度		
	%	達成度								
指標の種類										
本指標の設定理由						最終目標値の設定の考え方				
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	認定こども園に勤務する職員の保育士資格取得も進んできたことから、目標値を下回った。								
	成果指標	計画受理数が目標を下回ったことにより、保育士資格者数も下回った。								
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容										

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リーダー名 副主幹	施設担当 鴨川 信介	連絡先 担当者名 副主幹 鴨川 信介	948-6412
部等長名	井出 修敏	課等長名	好光 慎吾			
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リーダー名 主査	運営 鴨川 信介	連絡先 担当者名 主査 鴨川 信介	948-6412
部等長名	西岡 英治	課等長名	好光 慎吾			

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11123	待機児童対策・保育の質向上事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	214	個別プログラム	笑顔を育むプログラ
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる				重点プロジェクト	出会いから子どもの成長まで「つながる未来を応援するまちづくり」プロジェクト
施策	子育て環境の充実と整備		市長公約	122	主な取り組み	子どもの拠点・居場所づくり
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進				子育て環境を充実し、子どもたちの未来を応援する松山をつくります	
取り組みの柱	休日保育や夜間保育、一時預かり、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実を図ります。		取組み	3	保育所等待機児童の解消を目指して、認定こども園、保育所、地域型保育の保育定員を確保します。	
総合戦略	1363	基本目標 ①つながる未来を応援する(少子化対策) 政策 ③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実 施策 ⑥子育て拠点や居場所づくりの充実				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り 重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等 松山市保育所等定員弾力化事業実施要領,松山市産休・育休明け保育所等入園予約事業実施要綱等

事業の目的(どのような状態にするか)	待機児童の解消及び保育サービスの充実による児童の福祉の向上を図ることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	全国的に保育士の確保が難しい状況を踏まえ、待機児童の多くを占める1,2歳児を既存の施設での受入れを増やす必要があったため。また、年度途中で育児休業から復帰する方が、安心して休業できるようにする必要があったため。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	4月に1,2歳児を定員を超えて受入れた場合に、超えた部分に対して助成を行う。また、育児休業に伴う入園予約制度については、4月から入園月の前月までの月数に応じた助成を行う。助成先は、社会福祉法人等の長。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	平成 30	~	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費		児童福祉費		R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				236,036		230,846		261,833	
決算額(B)(単位:千円)				252,247		229,956			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			252,247		229,956		261,833	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						負担金補助及び交付金:229,956千円		負担金補助及び交付金:261,833千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		-16,211		890	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	1,2歳児について、基準を満たした上で、定員を超えて受入れを行った施設に対し助成を行った。また、入園予約制度を実施し、実績のあった施設に対し助成を行った。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	制度導入前と比べて1,2歳児の受入れが大幅に増加した。また、多くの方が入園予約することができた。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由	1,2歳児の受入れ児童数が増加するとともに、入園の予約によって、安心した育児休業取得につながった。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	更なる待機児童対策や保育の質改善に向けた取り組みが必要。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし
R4年度の目標	円滑に助成を行う。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		事業の趣旨を各施設に理解していただいた上で、1,2歳児の受入れを促進する。また、入園予約についても可能な限り促進する。更に、R3年度から開始した使用済み紙おむつ処分事業についても、継続して取り組む

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	1, 2歳児の入所児童数	人	目標値	2,978	2,978	2,978	2,978	2,978	目標値	2,978	
			実績値	3,011	2,934	2,864			達成年度	R5年度	
		%	達成度	101	99	96					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標									
	本指標の設定理由	4月時点で1, 2歳児の受入れを増やし、待機児童解消を目指すため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類										
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
	%	達成度									
指標の種類											
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	待機児童数	人	目標値	0	0	0	0	0	目標値	0	
			実績値	33	42	25			達成年度	R5年度	
		%	達成度	0	0	0					
	指標の種類	2.単年度での減少を目指す指標									
	本指標の設定理由	本事業の目的とする指標であるため。(実績値については、前年度1年間の成果である翌年4月1日時点の数値を記載)									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類										
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
	%	達成度									
指標の種類											
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	全国的に保育士の確保が難しい状況の中で、1, 2歳児の受入れを最大限行っている状況である。									
	成果指標	保育需要は高い状態が続いているため、3歳未満児の保育供給量を確保していく必要がある。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合,その内容											

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主幹	総務担当 巻田 直樹	連絡先 948-6872
	部等長名 井出 修敏	課等長名 好光 慎吾		担当者名 主任 丸橋 康子	
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主幹	教育保育支援 巻田 直樹	連絡先 948-6951
	部等長名 西岡 英治	課等長名 好光 慎吾		担当者名 主事 中丸 まどか	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11123	保育所事務費	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	-		
取り組みの柱	休日保育や夜間保育、一時預かり、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	児童福祉法					
事業の目的(どのような状態にするか)	直営または委託園による安定した保育サービスを提供すること。 また、公立の保育所等について、施設の修繕や点検業務などを実施するとともに、施設を適切に維持管理すること。					
背景(どのような経緯で開始したか)	児童福祉法24条による保育の実施。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	・公立直営保育所及び認定こども園(全15園)の施設修繕等の工事請負費など運営に関する費用 ・公立委託保育所(全10園)の運営委託料					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	～ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費		目	R3予算措置時期	当初
				項	児童福祉費			
				R2年度		R3年度		R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)				1,532,800		1,522,560		1,587,150
決算額(B)(単位:千円)				1,439,265		1,451,356		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			10,920		16,148		30,588
	県支出金			10,890		10,969		11,300
	市債			0		0		0
	その他			135,508		152,175		154,955
	一般財源			1,281,947		1,272,064		1,390,307
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料:1,309,432千円		委託料:1,416,134千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								予算額のうち、660千円は前年度繰越分
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		93,535		71,204

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・公立委託保育所への運営委託費の支出 ・公立直営保育所等での修繕工事					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	公立保育所等に通う子どもの保育に貢献しているため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	公立保育所等に通う子どもの保育に貢献しているため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		業務内容の見直し等保育士の負担軽減への対策を考える。	
R4年度の目標	必要な契約等を実施し、経費を滞りなく支出する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・公立委託保育所への運営委託費の支出。 ・公立直営保育所等の運営に必要な工事請負費、手数料、委託料等の支出。 ・紙おむつ処分の業務委託費の支出。	

令和4年度	部局等名	保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名	保育・幼稚園課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6872		
	部等長名	井出 修敏	課等長名	好光 慎吾	リダー名	主幹	巻田 直樹	担当者名	主任	丸橋 康子
令和3年度	部局等名	保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名	保育・幼稚園課	担当グループ名	教育保育支援	連絡先	948-6872		
	部等長名	西岡 英治	課等長名	好光 慎吾	リダー名	主幹	巻田 直樹	担当者名	主事	中丸 まどか

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11123	保育所事業費	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	-		
取り組みの柱	休日保育や夜間保育、一時預かり、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	公立直営保育所等の給食食材や保育教材等の一般保育に要する経費を支出し子どもの保育の充実を図ることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	公立保育所で安定した保育を実施するため。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	公立直営保育所及び認定こども園(全15園)の子どもを対象に、公立直営保育所等での給食費や保育教材費等を支出。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	～ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費		児童福祉費	目	児童福祉施設費	R3予算措置時期	当初
				項	目					
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						173,313		163,346	152,910	
決算額(B)(単位:千円)						115,243		112,958		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金					0		0	0	
	県支出金					0		0	0	
	市債					0		0	0	
	その他					89,006		91,998	73,119	
	一般財源					26,237		20,960	79,791	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						需用費:105,564千円		需用費:144,410千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		58,070		50,388		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立保育所等での給食費支出</li> <li>公立保育所等での給食燃料費支出</li> <li>公立保育所等での保育教材費支出</li> </ul>					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	当初の予定どおり,給食費等の支出ができたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	公立保育所等に通う子どもの保育に貢献しているため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし	
R4年度の目標	必要な契約等を実施し,経費を滞りなく支出する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		<ul style="list-style-type: none"> <li>公立保育所等での給食費支出</li> <li>公立保育所等での給食費,燃料費支出</li> <li>公立保育所等での保育教材費支出</li> </ul>	

令和4年度	部局等名	保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名	保育・幼稚園課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6998		
	部等長名	井出 修敏	課等長名	好光 慎吾	リーダー名	主幹	担当者名	主査	松井 しのぶ	
令和3年度	部局等名	保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名	保育・幼稚園課	担当グループ名	教育保育支援	連絡先	948-6872		
	部等長名	西岡 英治	課等長名	好光 慎吾	リーダー名	主幹	担当者名	主査	松井 しのぶ	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11123	一時預かり事業(公立分)	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	-		
取り組みの柱	休日保育や夜間保育、一時預かり、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実を図ります。			-		
総合戦略	1345	基本目標 ①つなげる未来を応援する(少子化対策)	取組み	⑤ 通常の保育時間以外に保育する「延長保育」、一時的に保育が必要となった際の「一時預かり」、病気の子どもを家庭で保育できない場合に医療機関で保育する「病児・病後児保育」など、保護者の育児への負担の軽減や、子育てと就労との両立支援に取り組みます。		
		政策 ③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実				
		施策 ④子育て支援の充実				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等 児童福祉法、子ども・子育て支援法、松山市一時預かり事業実施要綱、松山市子ども・子育て支援事業計画

事業の目的(どのような状態にするか)	保護者らの就労や、傷病・入院、災害・事故、育児等に伴う心理的・肉体的負担を解消するため、緊急且つ一時的な保育の実施を促進することを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	保育所等を利用していない家庭でも、日常生活上の突発的な事象や社会参加などにより、一時的に家庭での保育が困難となる場合がある。また、育児疲れによる保護者の心理的・身体的負担を軽減するための支援として事業が開始された。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山市公立直営保育所10園 家庭で保育を受けることが一時的に困難になった乳幼児について、主として昼間に、保育所で一時的に預かり、必要な保育を行う事業。					
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合基準や金額等「無し」の場合、その理由	1日1,500円(非課税世帯1日400円・生活保護受給世帯、ひとり親非課税世帯、障がい非課税世帯は無料)		
始期・終期(年度)	平成	2	～	令和	4	終期の種別 2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費		目	児童福祉施設費	R3 予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						5,196			4,803		4,030
決算額(B)(単位:千円)						2,242			2,452		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳			国支出金			747			817		1,343
			県支出金			747			817		1,343
			市債			0			0		0
			その他			748			818		1,344
			一般財源			0			0		0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算								需用費:2,368千円		需用費:3,610千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			2,954			2,351		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	公立直営園等10園(八雲・朝美・山越・久米・味生・粟井・余土・高浜保育園・ももはなこども園・中島こども園)で一時預かり事業を実施。 ※ももはなこども園・中島こども園・粟井・高浜保育園は余裕活用型。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通りに事業が実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	事業実施により、保護者の心理的・身体的負担の軽減に貢献できているため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	年度の後半になると、保育所を希望しても入所ができない状況があり、事業実施施設の増加を検討する必要がある。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		事業未実施施設に対し、子育て支援事業として事業実施を目指す。	
R4年度の目標	一時保育が必要な児童を、いつでも受け入れ可能な状態をめざす。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		事業実施施設の増加に取り組む。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	実施公立直営施設数	施設	目標値	10	10	10	10	10	目標値	10	
			実績値	10	10	10	10	達成年度	R5年度		
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	公立園での実施を想定しているため				
	本指標の設定理由	より多くの子どもを預かることのできる環境を作るため									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	待機児童数	人	目標値	0	0	0	0	0	目標値	0	
			実績値	33	42	25			達成年度	R5年度	
		%	達成度	0	0	0					
	指標の種類	2.単年度での減少を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第6次松山市総合計画に示す目標値であるため				
	本指標の設定理由	本事業の実施にもかかわる指標であるため。 (実績値については、前年度1年間の生花である翌年4月1日時点の数値を記載)									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	園の地域の状況に応じて実施施設数や類型を検討した。									
	成果指標	保育需要が増加するなか、一時預かり事業の利用対象者は保育園への入園を希望している保護者だけでなく、リフレッシュを目的とした保護者も利用しており、今後も引き続き利用希望者は増える見込みである。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名	保育・幼稚園課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6872	
	部等長名	井出 修敏	課等長名	好光 慎吾	リーダー名	主幹	巻田 直樹	担当者名	主任 中丸 まどか
令和3年度	部局等名	保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名	保育・幼稚園課	担当グループ名	教育保育支援	連絡先	948-6872	
	部等長名	西岡 英治	課等長名	好光 慎吾	リーダー名	主幹	巻田 直樹	担当者名	副主幹 中村 真理

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11123	市立幼稚園預かり保育事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	212	個別プログラム	笑顔を育むプログラム
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる				重点プロジェクト	出会いから子どもの成長まで「つながる未来を応援するまちづくり」プロジェクト
施策	子育て環境の充実と整備		市長公約		主な取り組み	安心して出産・子育てができる環境の整備
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進					
取り組みの柱	休日保育や夜間保育、一時預かり、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実を図ります。		取組み		⑤ 通常の保育時間以外に保育する「延長保育」、一時的に保育が必要となった際の「一時預かり」、病気の子どもを家庭で保育できない場合に医療機関で保育する「病児・病後児保育」など、保護者の育児への負担感の軽減や、子育てと就労との両立支援に取組みます。	
総合戦略	1345	基本目標 ①つながる未来を応援する(少子化対策)				
		政策 ③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実				
		施策 ④子育て支援の充実				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等	松山市一時預かり事業実施要綱						
事業の目的(どのような状態にするか)	「親も子育て幼稚園」をモットーに、親子のふれあいを深める親子体験活動の提供や保護者サークルの支援など、親子一体型の子育て支援に努めつつ、「預かり保育」を実施し、公私別の区別なく子育て環境を整える。						
背景(どのような経緯で開始したか)	核家族化により、保護者の通院や急用時に子どもの預け先のない家庭が増え、育児の負担感にもつながっている。また、家事等に無理のない範囲で就労を希望する保護者も増加傾向にあり、「預かり保育」のニーズが高まっている。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	実施幼稚園:三津浜幼稚園・石井幼稚園・荏原幼稚園 保護者の短時間就労や急用等の際、申し出に応じて市立幼稚園で平日の教育時間終了後や長期休業中に、在園児の一時預かりを実施する。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	利用料金:教育活動実施日 15時30分まで1時間100円、15時30分から30分100円 長期休業日 8時30分から30分100円、9時から1時間100円			
始期・終期(年度)	平成	27	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		幼稚園費		R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				17,344		15,652		18,178	
決算額(B)(単位:千円)				15,860		15,317			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			1,266		1,588		1,265	
	県支出金			1,266		1,588		1,265	
	市債			0		0		0	
	その他			3,260		3,664		2,995	
一般財源				10,068		8,477		12,653	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						給料: 6,292千円		給料: 7,265千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による増あり			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		1,484		335	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	保護者の短時間就労や急用等の際、申し出に応じて、平日の教育時間終了後及び長期休業中に在園児を対象に預かり保育の実施を継続した。 ・荏原幼稚園の平日及び長期休業中の預かり保育時間延長(～18時)検討					
主な取り組み内容の達成度	↑	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	・事業が定着し、利用が伸びた。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由	核家族化により、子どもの預け先のない家庭への育児負担の軽減となっている。		
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・保育所に入所できなかった子どもの受け皿的な役割となっており、長時間就労の保護者ニーズへの対応がさらに求められる。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		石井での教育時間開始前の預かり保育実施のため、従事者を増員する。	
R4年度の目標	・保護者の育児への負担感の払拭に寄与する。 ・引き続き、長時間就労の保護者のニーズに対応する。 ・長期休業中も在園児が友達と過ごすことができる環境を整える。 ・利用しやすい料金体制の見直し		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・通常教育日 教育時間終了後から18時まで(荏原) 教育時間終了後から18時まで(三津浜) 教育時間開始前7時30分から8時30分まで及び教育時間終了後から18時まで(石井) ・長期休業日 8時30分から18時まで(三津浜・荏原) ※荏原は坂本の園児も利用可 7時30分から18時まで(石井)	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	実施園数	園	目標値	3	3	3	3	3	目標値	3	
			実績値	3	3	3	3	達成年度	R5年度		
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	地域性や園規模を考慮するとともに、費用対効果を踏まえた当面の実施園数。				
	本指標の設定理由	先行園での実施状況を検証しながら、他園への拡大を検討するため。									
		目標値	実績値						目標値		
			%	達成度					達成年度		
		指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値	実績値						目標値		
			%	達成度					達成年度		
		指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	事業実施満足(利用率)	%	目標値	80	80	80	80	80	目標値	80	
			実績値	76	85	85		達成年度	R5年度		
		%	達成度	95	106	106					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	事前に得た保護者のニーズと、費用対効果を総合的に判断した。				
	本指標の設定理由	現在、実施園により地域性が異なるため、前年度目標をクリアしていても、次年度それ以上の目標を設定することが難しい。									
		目標値	実績値						目標値		
			%	達成度					達成年度		
		指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値	実績値						目標値		
			%	達成度					達成年度		
		指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	三津浜幼稚園、石井幼稚園、荏原幼稚園で預かり保育事業を実施することができ、目標を達成した。									
	成果指標	利用者の満足は得られたものの、現在設定されている事業実施日、実施時間以外にも保護者の就労時間の延長等から新たなニーズが生まれている。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 副主幹	施設担当 今井 元子	連絡先 担当者名 金子 陽平	948-6224
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 副主幹	運営指導担当 今井 元子	連絡先 担当者名 金子 陽平	948-6224

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11123	新型コロナウイルス感染症対策事業(私立分)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	-		
取り組みの柱	休日保育や夜間保育、一時預かり、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等 松山市保育所等新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金交付要綱

事業の目的(どのような状態にするか)	保育所等での新型コロナウイルスの感染拡大を防止する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	新型コロナウイルスが世界的に流行している中、保育所等にも消毒液などの感染拡大防止を図るための物品等に多額の経費を要していた。本市は国の第1次、第2次の補正予算を活用して事業を開始することとした。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のために必要な経費について松山市内の私立保育所等、延長保育事業実施施設、一時預かり事業実施施設、地域子育て支援拠点事業実施施設、病児・病後児保育事業実施施設に補助する。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	令和 2	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費		児童福祉費		R3予算措置時期	当初
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				320,527		117,850		104,050	
決算額(B)(単位:千円)				132,091		62,831			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			184,215		80,882		90,934	
	県支出金			56,831		6,917		13,116	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
一般財源				-108,955		-24,968		0	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						負担金補助及び交付金:62,831千円		負担金補助及び交付金:104,050千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		188,436		55,019	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	私立保育所等の新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、感染症拡大防止を図るために購入した物品やかかり増し経費に対して補助を行った。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	希望施設に滞りなく補助を行った。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るための必要経費について補助を行うことができたため。			
事業の公共性	必要性	1 1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の拡大については予見ができない。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	新型コロナウイルス感染症拡大の状況について予見が難しいが、状況に応じて柔軟に対応する。		
R4年度の目標	希望施設に滞りなく補助を行う。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	私立保育所等の新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、感染症拡大防止を図るために購入した物品やかかり増し経費に対して補助を行う。		

令和4年度	部局等名	保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名	保育・幼稚園課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6872			
	部等長名	井出 修敏	課等長名	好光 慎吾	リーダー名	主幹	巻田 直樹	担当者名	主任	丸橋 康子	
令和3年度	部局等名	保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名	保育・幼稚園課	担当グループ名	教育保育支援	連絡先	948-6872			
	部等長名	西岡 英治	課等長名	好光 慎吾	リーダー名	主幹	巻田 直樹	担当者名	主任	丸橋 康子	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11123	新型コロナウイルス感染症対策事業(公立分)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	-		
取り組みの柱	休日保育や夜間保育、一時預かり、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	松山市保育所等新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金交付要綱						
事業の目的(どのような状態にするか)	保育所等での新型コロナウイルスの感染拡大を防止する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	新型コロナウイルスが世界的に流行している中、保育所等にも消毒液などの感染拡大防止を図るための物品等に多額の経費を要していた。本市は国の令和元年度第1次、第2次の補正予算を活用して事業を開始することとした。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山市内の公立委託園…新型コロナウイルス感染症拡大防止のために必要な経費について補助金を交付する。 松山市内の公立直営保育所等…新型コロナウイルス感染症拡大防止のために必要な物品等を購入する。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	令和	2	～	令和	4	終期の種別	1:事業の終了時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費		児童福祉費		R3予算措置時期	当初
				項	目	児童福祉施設費			
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				64,113		26,950		19,600	
決算額(B)(単位:千円)				29,024		16,643			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			18,216		14,429		17,067	
	県支出金			11,617		1,596		2,533	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
一般財源			-809		618		0		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算				負担金及び補助:7,103千円 消耗品費:6,778千円		負担金及び補助:9,600千円 消耗品費:8,000千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		35,089		10,307	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・公立委託園の新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、感染症対策のための物品購入の経費やかなり増し経費に対して補助を行った。 ・公立直営保育所の新型コロナウイルス感染症拡大防止のために物品等を購入した。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	希望施設に滞りなく補助を行った。 公立直営保育所等については滞りなく必要な物品を購入することができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るための必要経費について事業を行うことが出来た。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・新型コロナウイルス感染症の拡大については今後も予見ができない。 環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			・新型コロナウイルス感染症拡大の状況について予見が難しいが、国の動向も注視しながら状況に応じて対応する。		
R4年度の目標	・希望施設に補助を行う。 ・公立直営保育所等については新型コロナウイルス感染症拡大防止のために必要な物品を購入する。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・公立委託園の新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、感染症対策のための物品購入の経費やかなり増し経費に対して補助を行う。 ・公立直営保育所等について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために必要な物品を購入する。

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リーダー名 副主幹	施設担当 鴨川 信介	連絡先 担当者名 主事 大内 智絵	948-6224
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リーダー名 主査	施設担当 鴨川 信介	連絡先 担当者名 主事 井上 蒔万	948-6224

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施設コード)	11123	施設型給付幼稚園事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備		市長公約	主な取り組み	-	
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進			取組み	-	
取り組みの柱	休日保育や夜間保育、一時預かり、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実を図ります。		-			
総合戦略	基本目標	-	-	-		
	政策	-		-		
	施策	-		-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	子ども・子育て支援法					
事業の目的(どのような状態にするか)	子ども・子育て支援新制度を円滑に実施するため、幼稚園に係る経費を支弁することにより、教育・保育の提供と地域の子育て支援の場となることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	平成27年度からの子ども・子育て支援新制度の創設に伴い、私立幼稚園を対象とした財政支援制度として開始した。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	私立幼稚園にかかる運営費用を給付費(負担金)として園に給付する。					
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由	保育料について、無償化の対象であるが、各施設での実費負担あり。		
始期・終期(年度)	平成 27	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費		児童福祉費		R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					798,446		862,223		916,585
決算額(B)(単位:千円)					788,522		855,611		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金		283,794		324,013		345,767
			県支出金		243,724		274,103		284,907
			市債		0		0		0
			その他		0		0		0
			一般財源		261,004		257,495		285,911
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						負担金補助及び交付金:855,594千円 扶助費:18千円		負担金補助及び交付金:916,495千円 扶助費:90千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		9,924		6,612		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	幼稚園に対し、運営費を支弁する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通りに事業が実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	適切に運営費を支弁することにより、各施設での教育・保育を実施することができたため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し。	
R4年度の目標	運営に関する経費を給付費として適切に給付する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		各施設からの給付費の申請に基づき、入所児童数を確認したうえで、適切に給付費を支給する。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	幼稚園の利用定員に対する入所者数	人	目標値	1,224	1,224	1,384	1,339	1,339	目標値	1,339	
			実績値	1,087	1,461	1,389			達成年度	R5年度	
		%	達成度	95	117	100					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	平成27年度に新制度が施行された為、幼稚園から認定こども園になる等、施設の異動が未定である。当面の間は、各年度で対象となる幼稚園の入所率を確認することによって、事業の実施状況を確認する。				
	本指標の設定理由	事業の実施上、参考となる指標のため。(実績値は3月時点での入所者数)									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	待機児童数	人	目標値	0	0	0	0	0	目標値	0	
			実績値	33	42	25			達成年度	R5年度	
		%	達成度	0	0	0					
	指標の種類	2.単年度での減少を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第6次松山市総合計画に示している目標値とする。				
	本指標の設定理由	本事業をより効果的に実施することにより待機児童の解消の一助を担うため。(実績値については、前年度1年間の成果である翌年4月1日時点の数値を記載)									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	入所定員に対して、高い入所率となっており、幼稚園での保育実施が適切に行われている。									
	成果指標	教育・保育需要は増加しているため、引き続き事業を実施して教育・保育の場を提供していく必要がある。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リーダー名 副主幹	施設担当 今井 元子	連絡先 担当者名 主事 武井 晶 主事 大内 智絵	948-6412
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リーダー名 副主幹	運営指導担当 今井 元子	連絡先 担当者名 主事 大内 智絵	948-6412

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	11124	地域保育所施設運営補助事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	122	子育て環境を充実し、子どもたちの未来を応援する松山をつります	
取り組みの柱	地域保育所への支援を充実し、入所児童の健康・福祉の向上を図ります。			児童クラブや遊び場を充実するなど、子どもの居場所づくりを進めます。国の幼児教育・保育の無償化に適切に対応しながら、引き続き待機児童の解消を目指します。		
総合戦略	1345	基本目標 ①つながる未来を応援する(少子化対策) 政策 ③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実 施策 ④子育て支援の充実	取組み	⑤ 通常の保育時間以外に保育する「延長保育」、一時的に保育が必要となった際の「一時預かり」、病気の子どもを家庭で保育できない場合に医療機関で保育する「病児・病後児保育」など、保護者の育児への負担感の軽減や、子育てと就労との両立支援に取り組みます。		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等	松山市地域保育所補助金交付要綱					
事業の目的(どのような状態にするか)	地域保育所(認可外保育施設)の運営費を補助し、入所児童の健康・福祉の向上を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	認可外保育施設での保育環境の悪化が全国的に問題となり、保育環境の整備及び入所児童の健康・福祉の向上の必要性が高まったため。(平成13年度～)					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	要件を満たす地域保育所 ①地域保育所に補助制度の周知 ②地域保育所へ交付決定の通知 ③地域保育所からの実績報告の確認 ④地域保育所へ補助金を支出					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		
始期・終期(年度)	平成 13	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費		目	児童措置費	R3 予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						34,322			33,279		33,173
決算額(B)(単位:千円)						26,744			24,550		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			118			118		118
			県支出金			0			0		0
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			26,626			24,432		33,055
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								負担金補助及び交付金:24,550千円		負担金補助及び交付金:33,173千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								8			
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			7,578			8,729		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	地域保育所に補助事業の周知。 補助対象施設に補助金の交付。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	補助制度が地域保育所に周知され、活用されている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	地域保育所の運営等を支援することにより、入所児童の健康・福祉の向上、保育士の確保、待機児童の解消に貢献している。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	保育需要が増加しており、国の動向を注視するとともに、他の自治体の支援状況を研究する。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	他の自治体の実施状況などを研究し、必要に応じて要綱改正を検討する。		
R4年度の目標	補助対象施設の利用率100%を目指す。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	地域保育所に対し補助事業の周知。補助対象施設に補助金の交付。		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	補助対象事業者の利用率	%	目標値	100	100	100	100	100	目標値	100	
			実績値	100	96	93			達成年度	R5年度	
			達成度	100	96	93					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	すべての対象施設の利用促進を示す目標値であるため。				
	本指標の設定理由	入所児童の健康・福祉の向上に寄与する指標であるため。									
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	待機児童数	人	目標値	0	0	0	0	0	目標値	0	
			実績値	33	42	25			達成年度	R5年度	
			達成度	0	0	0					
	指標の種類	2.単年度での減少を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第6次松山市総合計画に示している目標値とする。				
	本指標の設定理由	本事業を実施することにより待機児童の解消の一助を担うため。 (実績値については、前年度1年間の成果である翌年4月1日時点の数値を記載)									
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	補助対象施設の利用率はほぼ100%を維持しており、今後も継続して事業の周知に努める。									
	成果指標	保育需要は増加しているため、引き続き事業を実施して保育の場を提供していく必要がある。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 副主幹	施設担当 今井 元子	連絡先 6412
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 副主幹	運営指導担当 今井 元子	連絡先 948-6224

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	11124	事業所内保育施設整備促進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	子育て拠点や居場所づくりの推進		市長公約	122	子育て環境を充実し、子どもたちの未来を応援する松山をつくります	
取り組みの柱	地域保育所への支援を充実し、入所児童の健康・福祉の向上を図ります。				児童クラブや遊び場を充実するなど、子どもの居場所づくりを進めます。国の幼児教育・保育の無償化に適切に対応しながら、引き続き待機児童の解消を目指します。	
総合戦略	1345	基本目標	①つながる未来を応援する(少子化対策)			
		政策	③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実			
		施策	④子育て支援の充実			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等	松山市事業所内保育施設整備促進事業補助金交付要綱					
事業の目的(どのような状態にするか)	事業所内保育施設の設置及び運営に要する経費を補助し、待機児童の解消を促進するとともに児童の保育環境の充実を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	待機児童の解消を促進するために、事業所内保育施設の設置及び利用を促進する必要性が高まったため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	厚生労働省(愛媛労働局)の「事業所内保育施設設置・運営等支援助成金」を受給する事業者 ①事業所内保育施設(認可外保育施設)に補助制度の周知 ②事業所内保育施設(認可外保育施設)へ交付決定の通知 ③事業所内保育施設(認可外保育施設)へ補助金を支出					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		
始期・終期(年度)	平成 19	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童措置費	R3 予算措置時期		当初
									R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						4,893		3,687			1,431
決算額(B)(単位:千円)						3,085		3,434			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0		0			0
			県支出金			0		0			0
			市債			0		0			0
			その他			0		0			0
			一般財源			3,085		3,434			1,431
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							補助金:3,434千円			補助金:1,431千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			1,808		253			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	補助対象の事業者及び利用者に補助事業の周知。 補助対象の事業者及び利用者に補助金の交付。										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			補助制度が事業者及び利用者に周知され、計画通りの利用状況である。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		事業所内保育施設の設置及び利用の促進により待機児童の解消に貢献している。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	厚生労働省(愛媛労働局)の「事業所内保育施設設置・運営等支援助成金」の新規申請受付は平成27年度で終了したため、今後は減少が見込まれる。代わりに平成28年度から事業所内保育施設を設置する場合は、内閣府の企業主導型保育事業を活用できるような制度が変更されている。						環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策		国の新制度、他の自治体の実施状況などを研究し、必要に応じて要綱改正を検討する。		
R4年度の目標	補助対象の事業者の利用率100%を目指す。						R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		補助対象の事業者に補助事業の周知・補助対象の事業者に補助金の交付。		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	補助対象事業者の利用率	%	目標値	100	100	100	100	100	目標値	100	
			実績値	100	100	100	100	100	達成年度	R5年度	
		%	達成度	100	100	100	100	100			
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		すべての対象施設の整備促進を示す目標値であるため 第2期 松山市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度から令和6年度)			
	本指標の設定理由	事業所内保育施設の整備に寄与する指標であるため									
	活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	待機児童数	待機児童数	目標値	0	0	0	0	0	目標値	0	
			実績値	33	42	25			達成年度	R5年度	
		%	達成度								
	指標の種類	2.単年度での減少を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		第6次松山市総合計画に示す目標値であるため			
	本指標の設定理由	(実績値については、前年度1年間の成果である翌年4月1日時点の数値を記載)									
	成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	補助対象の事業者及び利用者の利用率は100%を維持しており、今後も継続して事業の周知に努める。									
	成果指標	保育需要は増加しているため、引き続き待機児童の多い3歳未満児の保育供給量の確保に努める。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 副主幹	施設担当 今井 元子	連絡先 担当者名 主事 大内 智絵	948-6224	主事 武井 晶
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 副主幹	運営指導担当 今井 元子	連絡先 担当者名 主任 金子陽平	948-6224	主任 崎山莉絵

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	11132	地域保育所保育料補助事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	自立支援や経済的支援の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	医療費助成や児童手当など、子育て世帯に対する経済的な支援を推進します。			-		
総合戦略	1351	基本目標	①つなげる未来を応援する(少子化対策)			
		政策	③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実			
		施策	⑤子育て世帯の経済的負担軽減			
取組	① 子どもの医療費の助成など、子育て世帯の経済的負担の軽減に取り組みます。					
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等	松山市地域保育所入所第3子等保育料補助金交付要綱					
事業の目的(どのような状態にするか)	18歳以下の児童が3名以上いる世帯に、地域保育所(認可外保育施設)へ通う3人目以降の児童の保育料を補助し、多子世帯への経済的負担を軽減することで子育て環境の整備を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	認可保育施設では、多子世帯の3人目以降の児童の保育料を無料または半額としていることから、地域保育所(認可外保育施設)の利用者の経済的負担を軽減する必要性が高まったため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象児童の保育料に対して軽減措置を講じる地域保育所に、軽減した額を補助金として交付する。 ①地域保育所(認可外保育施設)に補助制度の周知 ②地域保育所(認可外保育施設)の対象児童の認定の通知 ③地域保育所(認可外保育施設)へ交付決定の通知 ④地域保育所(認可外保育施設)へ補助金を支出					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		
始期・終期(年度)	平成 19	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費		児童福祉費		R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				12,293		13,837		13,663	
決算額(B)(単位:千円)				12,857		10,856			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			12,857		10,856		13,663	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						負担金補助及び交付金:10,856千円		負担金補助及び交付金:13,663千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		-564		2,981	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	地域保育所(認可外保育施設)に補助事業の周知。 補助対象者に補助金の交付。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	補助制度が地域保育所に周知され、多くの施設の多子世帯に補助制度を利用してもらった。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	多子世帯の経済的負担を軽減することで子育て環境の整備に貢献している。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	企業主導型保育施設の増設による対象者の増加。 保育料無償化の影響による対象者の増加。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		他の自治体の実施状況等を研究し、必要に応じて制度の見直しを検討する。	
R4年度の目標	補助対象児童のいる地域保育所の利用率100%を目指す。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		地域保育所(認可外保育施設)に補助事業の周知。 補助対象者に補助金の交付。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	補助対象児童のいる地域保育所の利用率	%	目標値	100	100	100	100	100	目標値	100	
			実績値	100	100	100	100	100	達成年度	R5年度	
			達成度	100	100	100	100	100			
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		対象世帯すべての経済的負担の軽減を目指した目標値とする。第2期松山市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度から令和6年度)			
	本指標の設定理由			補助対象児童がいる多子世帯の軽減負担の状況を示す指標であるため。							
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	待機児童数	人	目標値	0	0	0	0	0	目標値	0	
			実績値	33	42	25			達成年度	R5年度	
			達成度	0	0	0					
	指標の種類	2.単年度での減少を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		第6次松山市総合計画に示している目標値とする。			
	本指標の設定理由			子育て環境の充実を示す指標であるため。							
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	補助対象児童のいる地域保育所の利用率は100%を維持しており、今後も継続して事業の周知に努める。									
	成果指標	保育需要は増加しているため、引き続き待機児童の多い3歳未満児の保育供給量の確保に努める。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リター名 副主幹	市民 河野 浩武	連絡先 担当者名 主任 水口 能孝	948-6951
部等長名	井出 修敏	課等長名	好光 慎吾	河野 浩武	担当者名	主任 水口 能孝
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リター名 副主幹	運営 河野 浩武	連絡先 担当者名 主事 安野 愛子	948-6951
部等長名	西岡 英治	課等長名	好光 慎吾	河野 浩武	担当者名	主事 安野 愛子

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	11132	子育てのための施設等利用給付事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	子育て環境の充実と整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	自立支援や経済的支援の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	医療費助成や児童手当など、子育て世帯に対する経済的な支援を推進します。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	子ども子育て支援法					
事業の目的(どのような状態にするか)	子育て世帯の経済的負担の軽減に寄与する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	幼児教育・保育の負担軽減を図る少子化対策や生涯にわたる人格形成、義務教育の基礎を培う幼児教育の重要性に鑑み、子ども・子育て支援法が改正され、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が実施されることとなった。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	無償化対象施設:松山市民が利用する私立幼稚園、認定こども園、一時預かり事業実施施設、認可外保育施設(企業主導型除く)、病児・病後児保育事業実施施設、ファミリーサポート実施施設 幼児教育・保育の無償化対象施設としての「確認」が完了した施設に通う子どもに係る給付費を施設又は保護者に給付する。また、新制度未移行幼稚園に通う低所得世帯に対する実費徴収額(副食費)の補足給付を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	令和 2	~	令和 5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費		児童福祉費		R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				1,594,201		1,303,755		1,098,617	
決算額(B)(単位:千円)				1,035,795		969,549			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			564,828		562,416		550,066	
	県支出金			280,807		274,454		273,827	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
一般財源				190,160		142,679		274,724	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						負担金補助及び交付金:944,863千円		負担金補助及び交付金:1,068,922千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						R3年度より、認可外保育施設利用料減免事業(新型コロナウイルス対応)とベビーシッター等利用料助成事業(新型コロナウイルス対応)を統合			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		558,406		334,206	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	幼児教育・保育の無償化対象施設としての「確認」が完了した施設に通う子どもに係る給付費を施設又は保護者に給付する。また、新制度未移行幼稚園に通う低所得世帯に対する実費徴収額(副食費)の補足給付を行う。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	対象者に滞りなく給付を行った。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	対象施設の無償化により、多くの家庭の経済的負担の軽減に寄与できた。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし	
R4年度の目標	対象者について滞りなく給付を行う。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		幼児教育・保育の無償化対象施設としての「確認」が完了した施設に通う子どもに係る給付費を施設又は保護者に給付する。また、新制度未移行幼稚園に通う低所得世帯に対する実費徴収額(副食費)の補足給付を行う。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	施設等利用費支払い回数	回	目標値	6	12	12	12	12	目標値	12	
			実績値	6	12	12			達成年度	R2年度	
		%	達成度								
	指標の種類	6.現状維持を目指す指標(減を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	施設等利用費については月1回の年12回支払うため、12とした。			
	本指標の設定理由	もれなく支払うことを指標として掲げたため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
	%	達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	施設等利用費対象の園数	園	目標値	15	13	13	13	13	目標値	13	
			実績値	15	13	13			達成年度	R1年度	
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	6.現状維持を目指す指標(減を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	施設等利用費の対象園数としたため。			
	本指標の設定理由	施設等利用費を支払った園が成果となるため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
	%	達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	対象施設にもれなく支払うことができた。									
	成果指標	保護者の経済的負担の軽減に寄与できた。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リーダー名	連絡先 担当者名
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リーダー名 主幹	教育保育支援 連絡先 948-6872 担当者名 主事 中丸 まどか

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	19999	保育士等感染症対策相談・支援事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	その他			重点プロジェクト	-	
施策	その他		市長公約	主な取り組み	-	
主な取り組み	その他			取組み	-	
取り組みの柱	その他		-			
総合戦略	基本目標	-	-			
	政策	-	-			
	施策	-	-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	相談窓口を設置し、専門の医師との連携により保育所等が抱える感染症に関する疑問や不安を解決することで、感染拡大の防止を図る。併せて保育所等の職員のメンタルヘルスケアを行う。					
背景(どのような経緯で開始したか)	新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中、感染症対策や職員のメンタルヘルスケアに取り組む保育所等を支援する必要があると考え当該窓口を設置した。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	保育所等からメールやFAXで寄せられる新型コロナウイルス感染症対策等に関する相談に対し、専門の医師と連携して適切に対応する。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	令和 2	～	令和 3	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費		目	児童福祉総務費	R3予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						3,094			2,861		0
決算額(B)(単位:千円)						1,475			1,358		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			1,475			821		0
			県支出金			0			0		0
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			0			537		0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								報酬 891千円 報償費 408千円 需用費 60千円		R3年度で事業廃止	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			1,619			1,503		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	保育所等からメールやFAXで寄せられる新型コロナウイルス感染症対策等に関する相談に対し、専門の医師と連携して適切に対応する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	保育所等からの相談に、適切に応じるとともに、相談内容をFAQにまとめ、施設へ周知するなど、積極的な情報提供にも努めることができた点。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	件数は多くなかったが、新型コロナウイルスへの対応に不安を抱えながら子どもたちを預かる施設へ適切な支援を行えたため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			
R4年度の目標			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			

令和4年度	部局等名	保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名	保育・幼稚園課	担当グループ名	整備	連絡先	948-6998	
	部等長名	井出 修敏	課等長名	好光 慎吾	リダー名	主査	担当者名	主事	大森 康喜
令和3年度	部局等名	保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名	保育・幼稚園課	担当グループ名	施設整備	連絡先	948-6998	
	部等長名	西岡 英治	課等長名	好光 慎吾	リダー名	主査	担当者名	主事	大森 康喜

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	21123	公立保育所整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	災害等に強いまちをつくる			重点プロジェクト	-		
施策	防災対策等の推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	市有施設の耐震化		市長公約	-			
取り組みの柱	保育所や消防団のポンプ設置所などについて、順次耐震化を進めます。			-			
総合戦略	1363	基本目標	①つながる未来を応援する(少子化対策)				
		政策	③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実				
		施策	⑥子育て拠点や居場所づくりの充実				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	第2期松山市子ども・子育て支援事業計画						
事業の目的(どのような状態にするか)	公立保育所等の耐震化を進め、安全安心な保育環境を確保する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	公立保育所等は、昭和40～50年代にかけて整備されたものが多く、計画的に大規模改修や建替えを行う必要がある。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	公立保育所等のうち、耐震性に問題のある園舎や老朽化した園舎を整備するため、競争入札等で落札した松山市建設工事等競争入札参加資格者名簿に登録されている請負事業者へ工事請負費を支出。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	令和	1	～	令和	3	終期の種別	1:事業の終了時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉施設費	R3 予算措置時期	当初	繰越
現計予算額(A)(単位:千円)						737,247		135,939			
決算額(B)(単位:千円)						647,859		93,571			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0		0			
			県支出金			0		0			
			市債			281,300		15,500			
			その他			0		0			
			一般財源			366,559		78,071			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								工事請負費93,571千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								決算額のうち、60,011千円は前年度繰越分			
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			89,388		42,368			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・浮穴保育園 旧園舎ほか解体工事(繰越分) ・浮穴保育園 屋外整備工事(繰越分) ・平井保育園 旧園舎ほか解体工事(繰越分) ・平井保育園 屋外整備工事(現年分)					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり工事を完了することができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本工事により、安全安心な保育環境を確保することができた。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし。	
R4年度の目標	工事完了のため、特になし。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		工事完了のため、特になし。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
	成果指標 (3つまで設定可)	耐震化実施園数	園	目標値	25	25	25			目標値	25
				実績値	23	25	25			達成年度	R2年度
達成度				92	100	100					
指標の種類		3累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		公立保育所等のうち、耐震性に問題のある園舎を整備する。 (R2年度の平井及び浮穴保育園の新園舎建設により、全ての公立保育所等の耐震化が完了。R3年度は解体及び屋外整備工事を実施。)				
本指標の設定理由		公立保育所等の耐震化を進めるため。									
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
			達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
	達成度										
指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標	公立保育所等の耐震性を高めることにより、園児等の安全性が確保された。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リーダー名 主幹	総務担当 巻田 直樹	連絡先 担当者名 主任 中丸 まどか	948-6872
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リーダー名 主幹	教育保育支援 巻田 直樹	連絡先 担当者名 副主幹 中村 真理	948-6872

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	41111	幼稚園事務管理費	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	子どもたちの生きる力を育む			重点プロジェクト	-		
施策	知・徳・体の調和のとれた教育の推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	学校教育の推進		市長公約	-			
取り組みの柱	子どもの学習意欲を向上させる取り組みなどにより、一人ひとりが学習の基礎・基本を習得し、それらを活用して自ら考え課題を解決できる確かな学力を育成します。			-			
総合戦略	基本目標	-	取組み	-			
	政策	-		-			
	施策	-		-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	学校教育法						
事業の目的(どのような状態にするか)	市立幼稚園の運営に関する費用を支出することにより、市内の幼児教育の振興を図ることを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	本市の市立幼稚園設置時期より継続して実施している。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市内にある5つの市立幼稚園を対象。 市立幼稚園での幼児教育の振興を図るため、会計年度任用職員の配置や校務員の委託、職員の研修等に係る費用を負担。 1. 会計年度任用職員の配置 2. 校務員の委託配置 3. 幼児教育支援員の配置 4. 職員研修の充実 など						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	平成	元	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		幼稚園費		R3予算措置時期	当初
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				9,577		13,299		12,858	
決算額(B)(単位:千円)				9,056		11,185			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			6		12		30	
	県支出金			6		12		30	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			9,044		11,161		12,798	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料:6,092千円		委託料:6,693千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		521		2,114	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	会計年度任用職員(幼稚園教諭)4名を配置 ・校務員5園分を委託 ・職員の各種研修会への出席					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	必要となる職員等の確保ができた。 ・各種研修に参加することができ、教育の質の向上につながった。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、市立幼稚園の幼児教育の振興を図ることができているため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・会計年度任用職員(幼稚園教諭)の応募人数が少なく、必要な人材確保が厳しくなっている。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		・業務内容の見直し ・募集時期の変更	
R4年度の目標	現在の事業を継続して実施。 ・幼児教育研修会3回(キャリアアップ研修該当研修の周知) ・参加者(施設)数の増加		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・育休代替の会計年度任用職員の配置 ・委託による校務員の継続配置 ・職員研修の実施	

令和4年度	部局等名	保健福祉部(子ども子育て担当)	課等名	保育・幼稚園課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6412				
	部等長名	井出 修敏	課等長名	好光 慎吾	リーダー名	副主幹	今井 元子	担当者名	主任	金子 陽平	主事	大内 智絵
令和3年度	部局等名	保健福祉部(子ども子育て担当)	課等名	保育・幼稚園課	担当グループ名	運営指導担当	連絡先	948-6224				
	部等長名	西岡 英治	課等長名	好光 慎吾	リーダー名	副主幹	今井 元子	担当者名	主事	大内 智絵	主事	武井 晶

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	41116	私立幼稚園園児健康診断補助金	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	子どもたちの生きる力を育む			重点プロジェクト	-	
施策	知・徳・体の調和のとれた教育の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	学校教育の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	「学校保健安全法」に基づき、健康診断や学校環境衛生検査などを実施するとともに、児童生徒の事故防止に関する指導などを行うほか、保健室の整備・充実を図るなど、学校における保健と安全の充実を図ります。			-		
総合戦略	1363	基本目標	①つながる未来を応援する(少子化対策)	取組み	③ 保育所等待機児童の解消を目指して、認定こども園、保育所、地域型保育の保育定員を確保します。	
		政策	③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実			
		施策	⑥子育て拠点や居場所づくりの充実			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	松山市私立幼稚園園児健康診断補助金交付要綱					
事業の目的(どのような状態にするか)	市内の私立幼稚園に通う園児の健康管理や、健康増進を図ることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	本補助金は、市内の幼稚園教育の振興を図るため「私立幼稚園振興補助金」として昭和48年から私立幼稚園に対して運営費の一部を補助していたものを、補助金の目的を明確にし、使途制限を設け、より直接的に園児に還元できるような形に見直したものである。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市内の新制度に移行していない私立幼稚園に対し、学校教育法及び学校保健安全法に定める園児の健康診断に要する経費の一部を補助する。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 29	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		幼稚園費		R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				2,912		2,512		2,265	
決算額(B)(単位:千円)				2,169		1,966			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			2,169		1,966		2,265	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						補助金:1,966千円		補助金:2,265千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		743		546	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市内の新制度に移行していない私立幼稚園に対し、園児の健康診断に要する経費の一部を補助する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	すべての対象施設に対し、経費を補助することができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	園児の健康管理に寄与しているため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し。	
R4年度の目標	市内幼稚園に通う園児の健康増進を図る。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		本事業の対象となる幼稚園12園に補助金を交付する。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	対象幼稚園のうち本補助金を交付した園数	園	目標値	16	14	12	12	12	目標値	12	
			実績値	13	14	12			達成年度	R5年度	
		%	達成度	81	100	100					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	本補助事業は、新制度に移行していない私立幼稚園を対象としているため、年度により対象施設数が増減する可能性がある。そのため、評価実施年度時点で対象となる全ての園数を目標値とする。				
	本指標の設定理由	補助金を交付することで園児の健康増進を図ることができる。									
	活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	市内の私立幼稚園に通う園児の健康管理に寄与できた。								
		成果指標									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主査	整備 大西 一成	連絡先 担当者名 主事 大森 康喜	948-6998
令和3年度	部局等名 保健福祉部(子ども・子育て担当)	課等名 保育・幼稚園課	担当グループ名 リダー名 主査	施設設備 大西 一成	連絡先 担当者名 主事 大森 康喜	948-6998

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	41131	幼稚園庭芝生化事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	子どもたちの生きる力を育む			重点プロジェクト	-	
施策	知・徳・体の調和のとれた教育の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	教育環境の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	学校にエアコンを設置するほか、施設・設備の適切な維持管理を行うとともに、公共施設マネジメントに基づき長寿命化計画を策定し、安全を確保するなど、良好な学校環境を計画的に整備します。			-		
総合戦略	1363	基本目標	①つながる未来を応援する(少子化対策)			
		政策	③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実			
		施策	⑥子育て拠点や居場所づくりの充実			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し	
根拠法令,条例,個別計画等	第2期松山市子ども・子育て支援事業計画					

事業の目的(どのような状態にするか)	園庭を芝生化することにより、園児や地域の親子がのびのびと遊べる環境を整えることで、幼稚園を拠点とした運動習慣の構築を図ることができる。					
背景(どのような経緯で開始したか)	全国的に保育所や学校の園庭・校庭を高度な技術や高い整備費を必要としない方法で芝生化する動きが盛んになり、子どもの運動能力の向上やケガの防止、園環境の向上などの効果が確認されたため、本市でも、市長の公約として平成23年度から事業を開始した。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	【対象】市立幼稚園(全5園)に通う子どもと保護者、また、地域の親子 【事業内容】市立幼稚園(坂本、三津浜、石井、荏原、五明)の園庭の芝生の維持管理と、よりよい管理方法の検討。 園庭芝生の発育を促すため、受託業者(協和環境整備工業株式会社)へ委託料を支出してメンテナンスを実施。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		
始期・終期(年度)	平成 23	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		目	幼稚園費	R3 予算措置時期	当初
				項	目				
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				4,403		4,471		4,676	
決算額(B)(単位:千円)				3,964		4,172		4,676	
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			3,964		4,172		4,676	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				委託料:3,938千円 需用費(消耗品費、燃料費):179千円 原材料費:55千円		委託料:4,298千円 需用費(消耗品費、燃料費):323千円 原材料費:55千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		439		299	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市立幼稚園5園の園庭の芝生の維持管理					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	芝生の効果として、子どもが園庭でのびのび遊ぶことができ、運動習慣の構築やコミュニケーション能力の向上、怪我の大幅な減少などの効果があった。また、園庭の砂埃が減少した。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由	本事業の実施により、園児や地域の親子が、幼稚園でのびのびと動ける環境ができたため。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし	
R4年度の目標	市立幼稚園5園の芝生の状態を良好に保つ。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		目砂散布等により、芝生の維持管理を行う。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	芝生化実施園数	園	目標値	5	5	5	5	5	目標値	5	
			実績値	5	5	5	5	達成年度	R5年度		
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	現在芝生化している園を継続して、維持管理を行う。			
	本指標の設定理由	維持管理により、現状を続けることを指標とする。									
			目標値						目標値		
			実績値					達成年度			
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値					達成年度			
%		達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値					達成年度			
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値					達成年度			
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値					達成年度			
%		達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	園庭の芝生のメンテナンスを行うことで、芝生化した市立幼稚園数を維持することができた。									
	成果指標										
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	園児の運動習慣の構築やコミュニケーション能力の向上に繋がっている。										